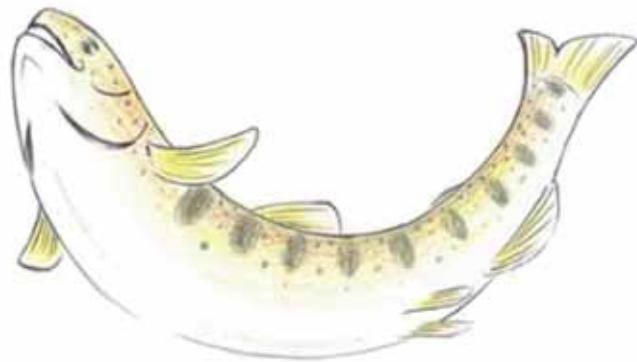


令和元年度

サクラマス・ドリーム・プログラム

キャリア教育 報告集



1年生・2年生

「アントレプレナーシップ教育」



島根県立吉賀高等学校

巻 頭 言

島根県立吉賀高等学校
校 長 渡 部 敏 郎

吉賀高校のキャリア教育は、平成23年度の高校魅力化事業開始以来「総合的な学習の時間」を中心に、1・2年次の連続性を持たせ2年間で「アントレプレナーシップ教育」に取り組んできています。

そして昨年より、「アントレプレナーシップ教育」が1～3年の3カ年にわたる「総合的な学習の時間」の柱となるよう、1年次「アントレⅠ（課題発見期）」、2年次「アントレⅡ（課題解決期）」、3年次「アントレⅢ（課題発展期）」としてリニューアルさせました。また今年度の1年生より「総合的な探究の時間」として名称が変更され、本校としてはより探究色を強めた本格的な学習として「アントレプレナーシップ教育」を推進しています。

本校は教育活動の柱として「サクラマス・ドリーム・プログラム」を掲げ、「アントレプレナーシップ教育」に限らず、生徒のキャリア教育活動を包括するプログラムとして3年間を通して段階的に生徒を育成しています。その中にはもちろん学校行事や部活動が含まれるだけでなく、地域クラブ有志における社会貢献活動や環境班の調査活動をはじめとする生徒の活動全体が含まれています。

また本年度は常駐のコーディネーターが2名に増員されたことや、コンソーシアムである吉賀高校支援協議会が本格的に機能しはじめたこともあり、地域の皆様からのより手厚い支援を受けることができるようになりました。

そして昨年より「キャリア教育成果発表会」は、会場を六日市体育館に移し、1・2年生全員で取り組んでいるアントレプレナーシップ教育をポスターにして発表するという形式に変更しました。2年目となる本年度は、発表内容や態度もよりレベルアップをしているという概ね高評価をいただきました。また本校の発表だけではなく、東京の大学生の皆さんや吉賀町教育委員会「サクラマスプロジェクトフォーラム2020」のポスター掲示もあり、大変盛大なものとなりました。本校のキャリア教育が、吉賀町サクラマスプロジェクトの一角として、吉賀町の社会教育にも効果的な役割を果たせるとしたら大変うれしく思います。

本冊子は、「キャリア教育成果発表会」で発表した内容の報告集です。生徒たちが1年間探究してきた地域課題とその解決策等をまとめたものです。今年は全員が原稿を見ずに自分の意見を語り発信してくれました。吉高の「あたりまえ」を一つレベルアップできました。これからも探究活動の成果がより具体的で実現可能な内容になるよう深めていきたいと思っています。

最後になりますが、連携をいただいている青山学院大学、大正大学、法政大学、日本女子大学の諸先生方、そして日頃からご指導いただいております地域の皆様に心より感謝申し上げます、巻頭のご挨拶といたします。

【日 程 等】

	開始時間	分	プログラム	備考
1	13:00	5	開会式	
2	13:05	5	講師紹介	
3	13:10	20	ポスター自由閲覧 (テーマ一覧表参照)	※法政大学ポスターもあわせて掲示 「町の発展の鍵 ～私たちが吉賀町で見たもの～」
4	13:30	105	ポスターセッション 1年9チーム、2年7チーム 1st: 10分×4回 (8チーム) 1年A～D班・2年1～4班 2nd: 10分×4回 (8チーム) 1年E～I班・2年5～7班	※セッション間10分休憩
5	15:00	15	交流タイム	※ポスターセッション後15分
6	15:15	25	ステージ・プレゼンテーション ①吉井 美咲 (1年) テーマ: 「広げよう! ご縁の輪」 ②高橋那央子 (1年) テーマ: 「野球部復活プロジェクト」 ③東島今日香 (青山学院大学3年) テーマ: 「吉賀町と私たち」	※2/8開催しまね探究フェスタ2019 マイプロジェクト1年発表者 ※大学生交流代表
7	15:40	15	講評	
8	15:55	5	閉会式	

【講 師】

青山学院大学	教育人間科学部	教授	樋田大二郎 先生
大正大学	地域構想研究所	教授	浦崎 太郎 先生
法政大学	キャリアデザイン学部	教授	寺崎 里水 先生
青山学院大学	教育人間科学部	助教	大木 由以 先生
日本女子大学	家政学部	学術研究員	樋田有一郎 先生



1年アントレの様子

アントレとは?

起業家精神(アントレプレナーシップ)育成教育

- 吉賀町をフィールドに、ありたい未来を実現するためのプランを考え、行動を起こす探究授業。
- この探究授業を通して、これからの社会人として必要な、「課題発見・解決能力」「実践行動力」「協働する力」などを育む。

⇒『未来をともに創る』ための授業

2年 アントレII 課題解決期

○ありたい未来を実現するためのプランを実行する

プランを考え、実行し、試行錯誤する

- ①町の大人と対話
 - ②吉賀町フィールドワーク
 - ③プラン実行(夏)
 - ④吉賀町フィールドワーク
 - ⑤プラン実行(秋)
 - ⑥校内発表会(1年生・地域の方と)
- その他、インタビューやフィールドワーク

「アントレプレナーシップ教育」流れ

- 1年 •アントレI 課題発見期
- 2年 •アントレII 課題解決期
- 3年 •アントレIII 課題発展期



2年アントレの様子



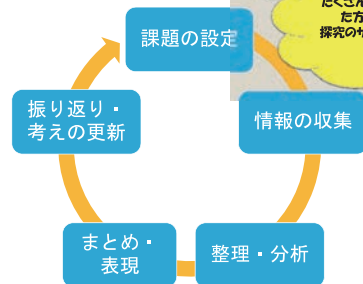
1年 アントレI 課題発見期

○ありたい未来を実現するためのプランを練る

より良いプランを作り出すために

- ①吉賀町フィールドワーク(大学生と)
 - ②吉賀町フィールドワーク(高校生のみ)
 - ③東京研修(大学生と)
 - ④東京研修報告会準備(大学生と)
 - ⑤東京研修報告会(先生・地域の方と)
 - ⑥校内発表会(2年生・地域の方と)
- その他、インタビューやフィールドワーク

『探究』のサイクル



たくさん考え、失敗して、更新し、の方がよい! 探究になる! 探究のサイクルをぐるぐる回す!

①

⑤

②

⑥

③

⑦

④

⑧

令和元年度 吉賀高等学校 キャリア教育成果発表会テーマ一覧表

①13:30～14:10（10分＜発表5分・質疑応答3分・移動＞×4回）

学年	グループ	テーマ
1年	A班	（公共施設）吉賀町にテーマパークを作る
	B班	（子育て）子育てのしやすい街作り
	C班	（子育て）中高生と子どもたちとの交流の場を増やす
	D班	（医療福祉）町民みんなが元気に
2年	1班	よってらっしゃい・みてらっしゃい こだわり満天★～吉高クッキング～
	2班	空き家探索！
	3班	小さな町の小さな保育所“木部谷”で大きな夢を+線香花火
	4班	インスタ映えするアスレチックを作る

②14:20～15:00（10分＜発表5分・質疑応答3分・移動＞×4回）

学年	グループ	テーマ
1年	E班	（医療福祉）吉賀町の看護師がいる現状を維持するために
	F班	（農業）吉賀の食べ物で
	G班	（観光文化）神社を活かそう！～吉賀町活性化プロジェクト～
	H班	（観光文化）伝統文化「まんざいらく」を絶やさないために
	I班	（環境）高津川を再び清流日本一に
2年	5班	高津川で遊ぼう！
	6班	それいけコッペパン
	7班	吉賀町の子育て

1年生



(公共施設) 吉賀町にテーマパークを作る

1年A班 下野翔輝・高橋那央子・田中陸士・原啓佑

テーマ「公共施設」

吉賀町にテーマパークを作る

吉賀高校1年アントレA班

高橋那央子 原啓佑 田中陸士 下野翔輝



1. 吉賀町フィールドワーク前に考えていた「創りたい未来」

- **吉賀町の現状**
 - ・人がいない
 - ・観光名所がない
 - ・交通が不便 etc
- **創りたい未来**
 - ・人がたくさん来る
 - ・観光できるような場所をつくる
- **実現のためのプラン**
 - ・アスレチックのようなものを作る (水上に)

2. 吉賀町フィールドワーク (8月23日)

- **どこに行ったか**
 - ・柿木プレーパーク
 - ・高尻ログハウス
- **何を聞いて、どんなことが分かったか**
 - ・柿木プレーパーク
 - 川で木材を使った遊具は**管理が大変** 人の手で作れる
 - お金がかかる
 - ・高尻ログハウス
 - 地の利が良い** 平日利用が少ない 赤字
- **自分たちの考えがどう変わったか**
 - 水上アスレチックを作る ⇒ 高尻ログハウスを活用して**テーマパーク**のような場所を作る

3. 吉賀町フィールドワーク第2弾 (9月19日)

- **どこに行ったか**
 - ・草の庭
- **何を聞いて、どんなことが分かったか**
 - ・アイスの作り方 → 協働開発したほうが良い (山吹グリーンファームと共同開発予定)
- **自分たちの考えがどう変わったか**
 - ・アイスもいいが流しそうめんなどの体験ができる簡単なものでもいいのではないかと

4. 東京研修地域巡検 (10月9日)

- **どこに行ったか**
 - ・お台場海浜公園
- **何を聞いて、どんなことが分かったか**
 - ・人を呼ぶためにはどうすれば良いのか → SNSの活用
 - ・都会の人は楽しい場所の他に**癒しの場所を求めている**
 - ・**民間企業にも協力**してもらった方が良い
- **自分たちの考えがどう変わったか**
 - テーマパークには人が楽しめるものも必要だが、**吉賀町の田舎の自然を癒しの場**として提供するのはいかがでしょうか



5. 3度のフィールドワークを経て考えた「最終プラン」について

高尻ログハウスを活用し、**楽しめる場もあり、癒されるような空間もある吉賀町にある自然を生かしたテーマパーク**のようなものをつくる

- **どんな目的か**
 - ・吉賀町に少しでも多くの観光客を呼んで、吉賀町の発展に貢献する
- **どんな効果がありそうか**
 - ・吉賀町にたくさん人が来て、吉賀町が活気づき、吉賀町の認知度が上がる
 - ・子供たちの遊び場ができる



6. アンケート

目的

- 町内小・中学校
…吉賀町の小・中学生が今の吉賀町にどんな施設を求めているのか、何が欲しいのかを確認するため。
- にほんばし島根館
…都会に住んでいる人が吉賀町（田舎）に来るとしたらどんな場所に来たいと思うのかを知るため

内容

- 町内小・中学校
…①あなたは吉賀町民として、どのような施設が欲しいですか？
②吉賀町にテーマパークが欲しいですか？
③吉賀町のいいところはどこだと思いますか？
- にほんばし島根館
…①何があったら吉賀町に行ってみたいと思いますか？
②田舎の魅力は何だと思いますか？

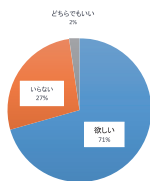
7. アンケート結果

2020年1月実施

吉賀町内小・中学校全学年対象

七日市小	45人
六日市小	77人
朝倉小	25人
蔵木小	14人
柿木小	61人
吉賀中	55人
六日市中	44人
柿木中	26人
回答	

吉賀町にテーマパークは欲しいか



Q. どんな施設が欲しいか（吉賀町内小中学校全学年対象）

- スケート場
- テーマパーク
- プールやクライミングなどの運動施設
- キャンプ場
- アスレチック
- 年代問わず楽しめる場
- などなど

Q. 吉賀町のいいところ（吉賀町内小中学校全学年対象）

- 地域の人のとの距離が近い
- 事件、事故が少なく住みやすい
- 挨拶をしてくれる
- 川がきれい
- 昔からのお祭りがある
- などなど

Q. 何があったら吉賀町に行きたいか（にほんばし島根館来場者45人）

- 町歩きツアー
- 森林浴
- 吉賀町でしか観ることのできない景色
- 温泉
- 自然の中でのんびりできる場所
- イベント開催
- などなど

Q. 田舎の魅力は何だと思うか（にほんばし島根館来場者人）

- 人の温かさ
- のんびりできる
- 景観
- 夜の暗さ
- 何もなくて
- 平和
- 自然
- おいしいもの
- などなど

8. ここまでに分かったこと

町内の小中学生へのアンケートから70%がテーマパークが欲しいと回答してくれました。反対に「自然を壊さないで」という意見も多数あり、自然を基にしたテーマパーク作りを進めていきたいと思った。

癒しの空間を求める県外の方が多かったので人の癒される空間のあるテーマパークなら効果があると感じた。

自然を壊さない、自然と一体化しているテーマパークにする。

9. 今後の予定

- ①（株）サンエムにログハウスでの活動の提案書の提出
- ②（提案書の返答待ち時に）山吹グリーンファームとアイスの共同開発

10. 最後に ～アントレを通じて～

・アントレに関して、メンバーそれぞれの気づき

下野翔輝

今回僕たちの班では「公共施設」をテーマに活動してきました。そこで、6年間吉賀町に住んできて行った事なかった場所や知らない場所に行って改めて吉賀町のすばらしさに気づくことができました。しかし、それを自分だけが知っている意味がないと思うので次は僕たちが発信していきたいなと思いました。そのためにも、これからの活動にも一生懸命取り組んでいきたいです。

高橋那央子

吉賀町のいいところをたくさん知ることができました。女子一人だけだったので初めは凄く不安でしたが班のみんなと協力してアントレを進めることができました。来年は遊具やイベントなどを具体的に考えていきたいです。吉賀町のいいところを知ることができた。みんなで協力してアントレを進めることができました。今後は自然をモチーフにしたテーマパーク作りや安らぎの空間を作っていきたい。

田中陸士

初めてアントレという活動をして思ったことは吉賀町に少しでも貢献できて良かったなと思いました。まだまだ貢献できる場所はあると思うのでこれからもっと貢献していきたいです。そして困った時でも他の3人がフォローしてくれたので活動しやすかったです。来年は考えたことを実行するところまでいけるようにみんなで協力して頑張っていきたいです。

原啓佑

自分が育ってきた場所とは真逆の町に来て、吉賀町のことは何も知らなかったのにアントレを通して学ぶことができてよかった。また環境が違うだけで街に求めていることにこんなにも違いがあるものなのかと、驚いた。グループの関係性もよかったと思うので、2年生ではもっとたくさんのお話を学んでいけるようにしたい。



(子育て) 子育てのしやすい街作り

1年B班 青江聖・明渡遼平・岡本ひなた・前田彩光



11 住み続けられるまちづくりを




子育てのしやすい街作り

吉賀高校1年アントレB班
青江聖 明渡遼平 岡本ひなた 前田彩光

4. 東京研修地域巡検（10月9日）

- どこに行ったか
こまじいの家・こまびよの家
- 何を聞いて、どんなことがわかったのか
人の交流場所を、室内だけでなく、外を使ってやってみる
- 自分たちの考えはどう変わったか
地域の人たちの協力を得る。空き家を使う

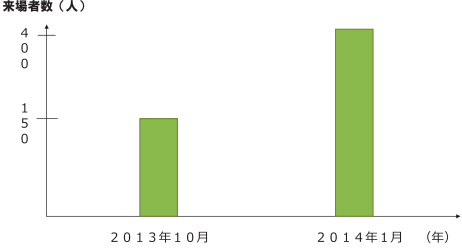


1. 吉賀町フィールドワーク前に考えていた（創りたい未来）

- 吉賀町の現状
子供の遊び場がない
- 創りたい未来
交流できる場所を作る
- 現実のためのプラン
交流する場所を作る

こまじいの家の実績

来場者数（人）



年月	来場者数（人）
2013年10月	15
2014年1月	40

2013年10月 2014年1月（年）

https://www.homes.co.jp/cont/press/reform/reform_00509/を参考

2. 吉賀町フィールドワーク（8月23日）

- どこに行ったか
こぼと保育園、六日市保育所
- 何を聞いて、どんなことが分かったか
子供と中高生、地域の方との交流が少ない
子供たちの遊ぶ場所がない
- 自分たちの考えはどう変わったか
場所を作り、人が集まれるような環境も作る

5. 三度のフィールドワークを経て考えた「最終プランについて」

- 最終目標
子育てのしやすい活気のある町
- 多世代が交流できるイベントを空き家などを使ってひらく。
- それによって、保健所や高齢者の集まり以外の交流を作る。

3. 吉賀町フィールドワーク第2弾（9月19日）

- どこに行ったか
役場企画課教育委員会
- 何を聞いて、どんなことが分かったか
空き家が多い、1ターン1ターンの増えている。
- 自分たちの考えはどう変わったか
イベントなどを進んで考えていき、増やしていく。
空き家をどうにかして活用できないか。

6. ここまでにわかったこと

調査をして分かったこと
吉賀町にも自分たちが作ろうとしていた場所があった（七日市さくらんぼサークル、みんなの居場所施設シエスタ）

自分たちのプランが効果ありそうか
微妙…やる価値はあるが広告や宣伝をしなければ来ないから持続が難しいから

より効果的にするには
宣伝をし、知名度を上げる

7. 最後に～アントレを通して～

▶ 明渡 遼平

- ①アボ先などの全く知らない人とかわってきたので、知らない人との会話能力が上がったと思います。
- ②地元感が全くなかったのでそこをサポートしてもらえてとても力強かったです。
- ③今まで「考える」というところまで来たので次は実行すると良いところまで持っていきたいです。

▶ 青江 聖

1. もともと人とかわることが苦手で自分自身で考えることなどがなかったけど、アントレを通して考える能力がアップしたと思います。
2. チームのみんなに頼ってしまったところが多かったのが反省点です。
3. 次は、実行という目標なのでしっかり反省点を生かしてチームみんなで頑張っていきたいです。

▶ 岡本 ひなた

アントレを通して吉賀町の保育面での課題を再発見できました。自分自身、課題がより良い方向に進むために色々考えられるようになりました。メンバーとも助け合いながらアントレを進められました。来年度は形に残るプロジェクトをやってみたいです。

▶ 前田 彩光

- ①アントレをしていく中で人と話すことが増え、コミュニケーション能力が向上したと思う。
- ②町外の人もいる中で協力し合いながら話し合いを進められた。
- ③行動にうつして自分たちの納得のいくアントレにしていきたい。

(子育て) 中高生と子どもとの交流の場を増やす

1年C班 岡本陸都・桑原涼華・師井そら



子育て
中高生と子どもとの交流の場を増やす
C班 岡本陸都 桑原涼華 師井そら

1. フィールドワークに行く前に考えた「創りたい未来」

■お年寄りと子供たちがふれ合える場を作る。

- ・そこに高校生も一緒に触れ合えるようにして吉賀町の地域の輪を広げたい。
- 地域を明るくしていきたい。



2. 吉賀町フィールドワーク

■1回目 双葉保育所 (8月23日)

- ・散歩のときに地域の高齢者と関わることは多いが、中高生と関わる機会は少ない。

- ・大きい関わりより小さい関わりが欲しい。



3. 吉賀町フィールドワーク

■2回目 役場(企画課) (9月19日)

- ・ブースなど色々な世代の人とふれあえる場をつくり、その中で保育園児と中高生が関わられるようにする

- ・ブースをするなら、安全な器具を置くことや、キーボードや華道など自分が得意とするものから一緒にやってみると良い

4. 東京研修地巡検域

■3回目 湯島幼稚園 (10月9日)

- ・子どもたちと一緒に考えて遊ぶ。

- ・常に子供たちのことを一番に考える。

- ・視線を子供たちに合わせる。



5. 3回のフィールドワークを経て考えた「最終プラン」について

■吉賀町の伝統文化で子供たちと高校生の交流の場を作る。

- ・伝統文化で触れ合うことでいろんな人と触れ合えるし、吉賀町のことについても知ることができる。

- ・地域行事に参加し、神楽や八久呂太鼓などの伝統と一緒に触れてもらう。

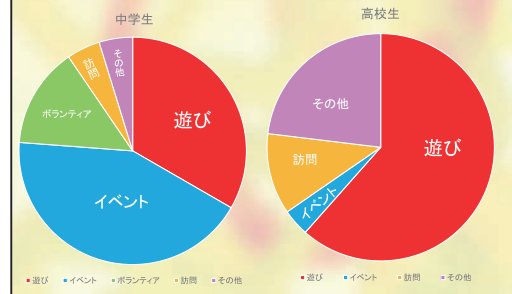
6. ここまでに分かったこと

- ・高校生と子供たちとの交流が少ないと感じている。
- ・吉賀町の子供たちは神楽などの伝統文化が好きなので興味を持ってもらえるし自分たちも吉賀町ことについて知ることができる。
- ・伝統文化の他にも子供たちと何かを創作するのも交流するのに効果的。

アンケート実施について

- ・目的 中高生と保育園生の関わりを増やすため
- ・時期 1月27日～2月3日
- ・内容 中高生が保育園生とどのような関わりがしたいか
- ・対象 中学生、高校生 50人

アンケート結果



最後に ～アントレを通して～

(岡本)・アントレの活動を通して行くうちに、僕たちの関係も深まり吉賀町の現状について考えることができた。このプロジェクトを進めていき、もっと吉賀町が明るくなるように街に貢献していきたい。

(桑原)・吉賀町と東京の子育ての違い詳しく知ることができた。子育てをするには、周りの人の手伝いが必要だということも分かった。来年も吉賀町のためになることを考えていきたい。

(師井)・いままで住んでいて気付かなかったことに、アントレを通して気付くことができた。来年は、今回考えた案をみんなに絶賛してもらえるようなものにしていきたい。

(医療福祉) 町民のみんなが元気に

1年D班 田原匡悟・深川心優・中村彩七・藤田晶斗

町民のみんなが元気に

1年 D班
深川心優 中村彩七 田原匡悟 藤田晶斗



2、吉賀町フィールドワーク（8月23日）

- 吉賀町役場保健福祉課
- 分かったこと
 - 無償化を始めたきっかけは、若い人を増やすために始めた。医療費の無償化を実施してから子供の出生数が増加。昭和40年頃から15歳未満の人が減少してきてこれ以上減少させないために子供医療費を無償化した。
 - 15年後ぐらいから、水力発電で得ている収入が不安定になる。
 - 1年間で医療費1690万円町が負担していて全額吉賀町がもっているお金だけでやっている。

1、吉賀町フィールドワーク前に考えていた「創りたい未来」

- 吉賀町の現状
 - 高校生までの医療費の無償化
 - 無償化にかかるお金で赤字になっていないのか
- 創りたい未来
 - 無償化にかかる赤字を少しでも減らせるようにする。
 - 経済の活性化
- 実現のためのプラン
 - 健康づくりの増進
 - 生活習慣の見直し

3、吉賀町フィールドワーク（8月23日）

- 今後のプラン
 - 若い世代（子育て世代）へのインタビュー
 - 病院へのインタビュー
- 東京研修で訪問したい場所
 - 東京の子育て世代へのインタビュー
 - 東京の病院へのインタビュー
- 今後の方針
 - 町民の健康寿命を伸ばす。他の世代との交流を増やす。

4、東京研修地域巡検（10月9日）

○墨田区役所

○わかったこと

- 墨田区は、吉賀町と比べて核家族が多い。
- 幼稚園で高齢者との交流をしている。
- 墨田区では、ラジオ体操が盛んで他にも早期発見・早期治療を目標にたくさんの健康診断が行われている。
- アプリを活用して健康になろうと努力している。
- ウォーキング大好き大作戦・墨田花体操



ロゴまたは名前をここに

7、ここまでに分かったこと

- ・吉賀町では無償化を始めたきっかけは、若い人を増やすために始めた
- ・医療費を無償化してから子供の出生数が増加
- ・1年間で医療費1690万円町が負担している全額吉賀町が持っているお金だけでやっている。
- ・墨田区は吉賀町に比べて核家族が多い
- ・医療費無償化は中学生まで
- ・幼稚園で高齢者の交流事業を行っている
- ・ラジオ体操が盛んであり、他にも病気の早期発見・早期治療を目標に健康診断を盛んに行っている

ロゴまたは名前をここに

6



ロゴまたは名前をここに

8、最後に ～アントレを通して～

深川 アントレを通して改めて吉賀町について考えることができてよかったです。高校生になってから機会がないと地域の方と関わることが少なくなっていたので楽しかったです。高校生にできることは少ないと思っていましたが、イベント等に参加することも大切だとわかりました。来年はもっと吉賀町らしいプランを計画したいです。

中村 私は、初めて吉賀町の現状や課題に注目して、その中で医療の無償化について考えました。いろいろ調べたり考えていくうちに新たな課題が見つかって、注目する点が変わって大変でしたが、最終的には考えがまとまってきたのでよかったです。次のアントレでも注目した点についてしっかり考えていきたいです。

ロゴまたは名前をここに



名前をここに

9、最後に ～アントレを通して～

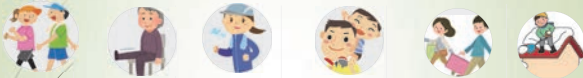


藤田 今回のアントレで、吉賀町のことを少しは学べたかと思います。県外生の自分にとって、町のことを深く学べたのはとても大きな財産となりました。今年度の反省点を踏まえた上で、来年度はより積極的に挑戦していければと思います。

田原 今回のアントレを通して、吉賀町の無償化の現状について詳しく知ることができました。東京フィールドワークで、墨田区役所へ行き、吉賀町との違いについてたくさんのことを学ぶことができてよかったです。来年度は、今回のアントレで学んだことを生かしていきたいです。

ロゴまたは名前をここに

5、保健福祉課の方にお聞きした話



歩く	ストレッチ	ジョギング	子供と遊ぶ	買い物	雪かき
21分	34分	12分	21分	37分	14分
29分	46分	16分	29分	50分	19分

ロゴまたは名前をここに

6、3度のフィールドワークをえて考えた「最終プラン」について

○目的

→運動する機会を増やし町民の皆さんを元気に

○何をするか

- 吉賀町で現在行われているウォーキング大会への参加をポスター等で促す
- ウォーキング大会後にイベント(バーベキュー等)を開催し多世代交流をする
- ウォーキング大会前に重要性を伝える

○効果

- 運動することができる
- 交流ができる
- 次も参加する確率が上がる



ここに

ありがとうございました

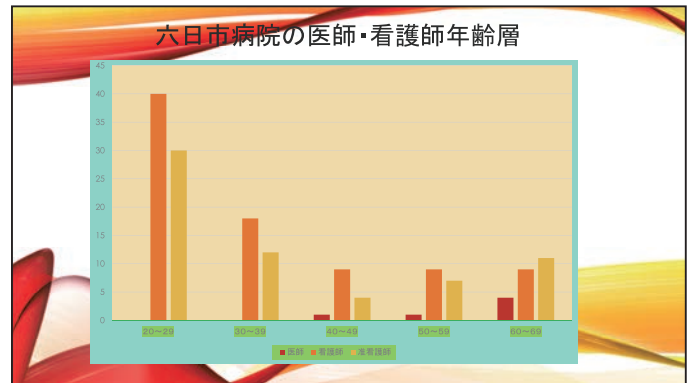
(医療福祉) 吉賀町の看護師がいる現状を維持するために

1年E班 米田晟輝・河村奈央斗・米原汰一

3 町民に
身近な福祉

吉賀町の看護師がいる現状を維持するために

吉賀高校1年アントレE班
米田晟輝 米原汰一 河村奈央斗



1、吉賀町フィールドワーク前に考えていた『創りたい未来』

- ・吉賀町の現状
吉賀町では看護師が不足しているのではないかと仮説を立てた
- ・創りたい未来
看護師が増えてほしいと考えた
- ・実現のためのプラン
学校で看護体験をするイベントを開いたりして少しでも看護師に興味を持ってもらう

東京研修地域巡検(10月9日)

東京の医療の現状を知るために東京でフィールドワークを行った。(都庁、グリーンポート恵比寿)
東京では看護師が不足していることが分かった。
東京では人材確保のため多くの補助金をあてていることがわかった

吉賀町フィールドリサーチ(8月23日)

吉賀町では、看護師が不足しているのではないかと仮説を立ててフィールドワークを行った。(社会福祉協議会、みろく園)

吉賀町では看護師が不足していないことがわかった。だからこの現状を維持していこうと考えた。

3度のフィールドワークを経て考えた「最終プラン」について

男性看護師を増やす

- ・男性看護師をPRする動画を作成する→対象・中高生

原因…看護師＝女性という固定観念がまだ残っている
数十年前まで看護「婦」だった

↑なぜこのプランにしたのか?
↓「師」
だが、今では男性看護師は増えてきたけれど女性看護師と比べると少ない

吉賀町フィールドワーク第2弾(9月)

8月のフィールドワークをもとに六日市病院でフィールドワークを行った。

その結果医師の年齢層が高くなってきていることや六日市学園がなくなり看護師の人材確保が難しくなることが分かった。



自分たちのプランが効果がありそうか

- 最近の中高生はスマートフォンやパソコンを使って動画を見ているのでPR動画にすることで若者の目に触れやすいので、看護師という職業に興味をもってもらえるのではないかと考えた。
看護師＝女性という固定観念がなくなってくる。
- 動画の内容
 男性看護師の普段の仕事の様子やインタビュー形式でPR動画を作成し、多くの中高生に見てもらおう。

最後に～アントレを通して～

- 米原 汰一**
 アントレをすることで課題を見つけたり解決することの難しさを知ることができました。そして吉賀町についてより知ることができました。今回のアントレの経験をまた来年に活かして吉賀町がより良くなるようなことを考えていきたいです。
- 栗村 奏斗**
 アントレを通して思ったことは医療について調べることで医療の大切さを知りました。班のメンバーは個性的な人がおり、なかなか話がまとまりませんでしたが力を合わせてがんばりました。
 2年になったら今回のアントレを活かして吉賀町をもっとよりよい町にしていきたいです。
- 米田 麗輝**
 アントレを通して医療の大切さを知りました。医師や看護師がいなくてケガや病気になったときに治療ができません。しかし、どんどん看護師が減っています。
 私たちが目指しているのは、男性看護師を増やしていきたいと考えています。だから、これからもしっかりアントレに取り組みたいと思います。



(農業) 吉賀の食べ物で

1年F班 高橋沙依・三家本瑛琉・赤松一希



吉賀の食べ物で

吉賀高校一年F班
 赤松一希 高橋沙依 三家本瑛琉

吉賀町の農家

2013年	2000	2005	2010	2015
20以下	3	0	0	0
30代	21	0	10	11
40代	119	60	34	23
50代	184	171	118	88
60代	283	188	185	170
70以上	297	321	308	247
農家戸数	889	761	655	534

高齡化率 ↑
 農家の人数 ↓

1. 吉賀町フィールドワーク前に考えた「創りたい未来」

吉賀町の現状
 人口減少 使われていない農地の増加

- 創りたい未来
 後継者不足解消 町外の人に知ってもらおう
- 実現のためのプラン
 ネット販売やいろいろな言語のパンフレットの作成

農家数

農家数の推移

年	専業	専業・副業	専業以外	計
2015	544	193	50	787
2010	653	227	56	936
2005	785	62	146	993
2000	889	61	195	1145

主業・副業農家数の推移

専業・兼業農家数の推移

主業農家: 農業所得が最大で1年間に60日以上自家消費に使用している65歳未満の世帯員がいる農家
 専業農家: 専業所得が最大で1年間に60日以上自家消費に使用している65歳未満の世帯員がいる農家
 副業農家: 1年間に60日以上自家消費に使用している65歳未満の世帯員がいない農家
 兼業農家: 世帯員の中に兼業所得者がいる人はいない農家
 専業・兼業農家: 専業所得の方が農業所得よりも多い専業農家
 兼業・専業農家: 兼業所得の方が農業所得よりも多い兼業農家
 専業農家: 世帯員の中に兼業所得者がいる人はいない農家
 兼業農家: 1年間に60日以上に雇用されて仕事に就いた者または農業以外の自家消費に就いた者

吉賀町で作られる米の種類とつかわれていない農地

JIA買収倉庫(うるち実米)	1	2	30kg価格 円(税込)
高			
コンヒカリ(兼業)	6,350	6,150	6,050
コンヒカリ(上)	6,450		
コンヒカリ(兼業)	6,200	5,900	
ヘルシー(兼業)	6,600	6,400	
ヘルシー(上)	6,300		
ハクモクセン	6,100	5,900	6,400
きぬすずめ(兼業)	6,250	6,050	5,550
きぬすずめ(上)	6,350		
専業のすずめ(兼業)	6,100	5,900	
つや姫(特選産米)兼業	6,600	6,400	
つや姫(特選産米)上	6,300		
つや姫(特選産米)兼業	6,650	6,450	
つや姫(特選産米)上	6,750		
ヒノヒカリ	6,250	6,050	5,550

← 一等の米が多い

専田の全体面積	面積(m ²)
田んぼ面積(吉賀町農業再生協議会上り)	7,132,632
専田面積	4,724,152
耕作放棄地	2,408,480

← 田んぼの面積

※米田では主産米以外の穀類(粟やWCS)稲穂といった産産穀類の栽培、大豆や野菜等の転作物の栽培などが行われています。
 ※耕作されていない面積は休耕、自己保全管理、調整水田など

2. 吉賀町フィールドワーク(8月23日)

注連川の糧 土井さん

吉賀の農家の現状・思い

- 後継者不足
- 使われていない農地の増加
- 吉賀町を米のよりどころにしたい

3. 吉賀町フィールドワーク2回目(9月19日)

サジキアグリサービス 訪問

- 商品化について

分かったこと

- 吉賀町の農業を大切にしたい
- 吉賀町の需要と供給のバランスが悪い
- 人手不足

4. 東京研修地域巡検(10月9日)

東京農業大学メルカード株式会社
(東京農業大学の中にある生徒が経営する企業)



わかったこと

- 一つのことでも複数の問題を解決していくことが大事
 - 自分の地域にあるものをいかす
 - 地域参加型でPRする
- 地元にも町外の人にも知ってもらえる



6. ここまで分かったこと

- 人手不足でやりたいことが十分にできない
- 知名度が低い
- 高齢者の増加で後継者不足



フィールドワークを踏まえての「最終プラン」

プラン① 新商品開発

目的

- ライスバーガーよりも賞味期限が長く保存できるものでスーパーや道の駅で売れるようにする
- イベントでコメのおいしさがダイレクトにわかるような物を作る

方法

- 五平餅 ・おにぎり
- 米粉のパン



効果

- おいしさを知ってもらえる
- 売ると同時にパンフレットを作ることで信用を得ることができる

最終プラン② 農地でイベントを開催する

目的

- 吉賀町の農地について知ってもらう
- 地元の人に農業に親しみをもってもらう

方法

- 田んぼアートを町内の人や町外の人と呼んで行う
- ポスターや吉賀町のホームページ、SNSを使う
- プリントを作成 町内の小中学校に配布
- そこでライスバーガーなどの吉賀町の食べ物を食べる

効果

- 町内の町外の人も参加できて知ってもらえる



7. 最後に ~アントレを通して~

赤松

▪このアントレを通して、吉賀町が今抱えている問題や取り組みを知ることができました。またこの活動で僕自身も大きく変わるきっかけとなりました。例えば、僕は将来吉賀町のために働こうと考えています。そんな中このアントレで吉賀町の課題点を知ることができて僕がこれからすべきことが少しわかった気がします。これからは、吉賀町のためにどんなことをすべきかを、考えながら生活しようと思います。そして、来年は吉賀町の米についてもっと知り、吉賀町をアピールしていこうと思います。

高橋

▪小・中学校で給食を食べてきて吉賀の米はとても好きなので将来も変わらずたべることができるようになりたいと思いとりました。アントレの活動を通して吉賀町の現状や良いところを知ることができてよかったです。また情報を収集しまとめたり、インタビューをすることで自分の能力も高めることができました。来年は、もっと現実的にかんがえて実際に実行できるようにアントレの活動に取り組みたいです。

三家本

▪私は、吉賀町に住んでいながらも吉賀米のことを知りませんでした。ですが、このフィールドワークをどうして、吉賀米のことが知ることができました。このグループの人たちはすごくいい人で個人個人の特徴を生かしてとてもうまくできたと思います。このグループ最高です！来年はもっと吉賀町のアピールしていきたいです。



(観光文化) 神社を活かそう！ ～吉賀町活性化プロジェクト～



1年G班 河村日南・中村南緒・吉井美咲・小原ひなた

神社を活かそう！
～吉賀町活性化プロジェクト～

【観光・ブランド化】
吉賀高校アントレG班
河村日南・小原ひなた・中村南緒・吉井美咲

◎実現のためのプラン

- ・吉賀町での観光ツアーを行う。
- ・吉賀町内の使われていないお寺や神社を活用する。

1. 吉賀町フィールドワーク前に 考えていた創りたい未来

2. 吉賀町フィールドワーク (8月23日)

◎吉賀町の現状

- ・人口が少ない
- ・町外・県外からの観光客が少ない
- ・お寺や神社が多い

行った場所①…新宮神社

【島根県鹿足郡吉賀町983-2】
【六日市バス停から徒歩1分】

◎付近の神社…

- ・指月神社・大岡神社
- ・三宮神社・那智神社 など

◎創りたい未来

- ・町を活性化させる。
- ・観光客を増やす。
- ・使われていないお寺や神社を活用する。

新宮神社

◎特徴

- ・五龍がある。隠れミツキーのような面白さがある。
- ・三十六歌仙がある。平安時代からの貴重なものを見ることができる。
- ・高台スポットのように見晴らしが良い。

◎課題

- ・御朱印がない。
- ・参拝者が少ない。
- ・交通が不便。
- ・神主さんや宮司さんが常駐していない。

行った場所②…**誓立寺**



【島根県鹿足郡吉賀町樋口121】
【上樋口バス停から徒歩5分】

◎付近の神社…
・円徳寺・福田寺
・願行寺・宗久寺 など

◎地域の人はどうな思いを抱いていたか

・高校生がおもてなしをするのはスペシャル感があって良い。

◎自分たちの考えはどう変わったか

・交通手段がバスのみなので、ツアーを組む
・自分たちが地域の人に期待されていることが分かって、もっと頑張ろうと思った。

誓立寺

◎特徴

- ・年に2回法座がある。
- ・命日に参る。
- ・月に1回日曜学校がある。
- ・夏はキャンドルサービスがある。
- ・月曜日、金曜日に双葉保育園で振り返りがある。

4.東京研修地域巡検（10月9日）

3.吉賀町フィールドワーク（9月19日）

◎行った場所②…**赤坂氷川神社**



【東京都港区赤坂6丁目】
【日比谷線・大江戸線 六本木駅より徒歩8分】

◎付近の神社…
・四合稲荷神社・日枝神社 など

行った場所①…**大岡神社**



【島根県鹿足郡吉賀町広石960】
【広石口バス停から徒歩1分】

◎付近の神社…
・八幡宮・指月神社
・那智神社・奇鹿神社 など

◎分かったこと

・実際に御朱印をいただいて、御朱印がどのようなものかが分かった。

・神社はお参りする場所
(感謝、祈願)

➡ ツアーで使うときには神社本来のものを大切にする



行った場所②…**観光協会**

◎わかったこと

- ・吉賀町にはたくさんの神社があるが、あまり認知されていない
- ・大岡神社と指月神社に御朱印がある
- ・交通手段はバスのみ

【吉賀町のデータ】

◎市町村別観光客入込延べ数
【吉賀町】

H30入込客延べ数	H29入込客延べ数	対前年増減
211,381	241,292	-12.4%

◎新宮神社参拝者人数 (島根県観光振興課調べ)

12/31(大晦日)
1/1・2・3 60人
年間(毎月) … 15人
(お祭りあり) … 15~60人
(ふるさと案内人右田さんより)

5.三回のフィールドワークを経て考えた「最終プラン」プランについて

◎目的

・お寺・神社を使って観光客を増やし、吉賀町の活性化に貢献する

◎プランの内容

・観光協会と協力し、町内のお寺、神社を巡るツアーの企画
・御朱印を作る

◎それを行うことによって得られる効果

・吉賀町の活性化
・吉賀町の観光客の増加

◎ツアーについて…

・お寺や神社などの宗教施設を観光ツアーだけのために使うのはよくない。

・ツアーを行うには資格が必要で、旅行代理店に依頼しないとイケない。

・バスが通れない場所がある。

(河村日南)

①吉賀町のこと、このプロジェクトについて

・アントレを通して吉賀町の今おかれている課題について知ることができた。
・御朱印についても知れた。

②自分自身の成長や、メンバーとの関係性

・困っている時に、助けてくれる。
・何をしたらいいか考えることができた。

③来年度やってみたいこと

・吉賀町の良いところをいかして実現できることをする。

(小原ひなた)

①吉賀町のこと、このプロジェクトについて

・吉賀町はお寺や神社が多く、神楽という伝統文化を大切に受け継いでいるということがわかった。

②自分自身の成長や、メンバーとの関係性

・今後の展開を考えながら次のプランを構成する能力をつけることができた。
・積極的にコミュニケーションをとることができた。

③来年度やってみたいこと

・御朱印のデザインを考え、実際に使用できるようにする。

6. これまでに分かったこと

◎吉賀町内のお寺や神社について…

・参拝者数が少ない。

・交通面が不便。

・地域の人の認知度が低い。

・神宮さんや宮司さんが常駐していない。

(吉井美咲)

①吉賀町のこと、このプロジェクトについて

・吉賀町の現状を知り、吉賀町の良さを知ることができた。

②自分自身の成長や、メンバーとの関係性

・一人だけでは、良い案が思い浮かばなかったり、良い質問が思い浮かばなかったりしたので、メンバーに助けられた。自分自身の成長としては、質問をするときに一問一答だけで終わらず、話が前よりは続くようになった。

③来年度やってみたいこと

・ツアーを実現する。

◎御朱印について…

・御朱印が無い神社やお寺がある。

・大岡神社と指月神社には御朱印がある。

・新宮神社には御朱印はないが、自分たちで作れば使ってもらえる。

(中村南緒)

①吉賀町のこと、このプロジェクトについて

・吉賀町の現状や課題について、詳しく知ることができた。
・地元の人から見た吉賀町がどんな感じか知ることができた。

②自分自身の成長や、メンバーとの関係性

・自分が何をすべきか考えて行動することができた。
・みんなでひとつのプロジェクトを行う上で、お互いに協力しあうことがとても大切だと分かった。

③来年度やってみたいこと

・ツアーを実際に行う。

(観光文化) 伝統文化「まんざいらく」 を絶やさないために

1年H班 齋藤大和・田村凜・堀田峻佑

【まんざいらく】を絶やさないために

アントレH班 田村凜 齋藤大和 堀田峻佑

「創りたい未来」のプランを変更

萬歳楽で観光客UP↑↑

今の若者に受け継いでもらう

自分たちが考えていた『創りたい未来』

・吉賀町の観光客を増やす

・吉賀町の現状
観光する場所が少ない
観光客が少ない

・実現するためのプラン
柿木村下須地区の伝統文化である「萬歳楽」で観光客UP↑↑

各市町の観光客数	
浜田市	1,554,078
益田市	961,464
津和野町	1,213,853
吉賀町	241,292

吉賀町フィールドワーク第2弾

吉賀町教育委員会に行った。


ここでは、情報の広め方について教えてもらった。
例えば、ポスターを使うということ。ポスターを町に貼ることで知ってもらう機会がふえてくる。

吉賀町フィールドワーク 8月23日

柿木村下須集会所

萬歳楽について

約490年前(明応6年1497年)に始まりました。
お米をまつる行事で女性がお米をお茶碗につぎ、男性がお米を食べます。男性がお茶碗の中のお米を食べ終わると女性達がそのお茶碗を奪いに行き、男性はお茶碗を取られないように隠します。とられたら、またお茶碗に少量のお米をつがれます。




東京研修地域巡検(10月9日)

東京の伝統文化の現状を知るためにフィールドワークを行った。(浅草観光名所、墨田区役所)

東京は昔ながらの観光名所が現在でも受け継がれていた。例えば、浅草寺では煙を体にかけてと良くなるというものがありそれは昔からあるものだった。

東京は人口が多い分、受け継いでいくのは今後も可能だということが分かった。

現在の吉賀町だと人口が少ないため、受け継いでいくのは難しいのではないのかと思う。



萬歳楽で観光客UP↑↑ がテーマだったけれど

観光化にするのは難しいと言われた。

なぜなら、萬歳楽はあくまで地域の文化であり、他の町外の人や県外の人参加ができないから。

町の人達の思いは観光化にするより、
地域の伝統文化として残していきたい

現在の中学生で萬歳楽を受け継ぎたいかのアンケートを実施

アンケートの目的は、萬歳楽を今後受け継いでもらうために柿木の若者たちはどのくらい萬歳楽のことを知っているのか知りたかったから

実際に受け継ぎたいと思う人はどのくらいいるのか知りたかったから

アンケート調査 (柿木小・中)

小学5年 15人
小学6年 8人
中学1年 4人
中学2年 10人
中学3年 12人

2020年1月 実施

①現在吉賀町にある「萬歳楽」を知っていますか？

	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
内容まで知っている	8	4	0	8	8
聞いたことはあるが、内容は知らない	2	3	2	1	3
全く知らない	5	1	2	1	1

②あなたは吉賀町の「萬歳楽」を自分が受け継ぎたいとおもいますか？

	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
柿木に住み受け継いでいきたいと思う	2	0	0	0	5
柿木には住まないが、誰かに受け継いでほしいと思う	2	5	1	8	6
受け継ぎたいと思わない	11	3	3	2	1

アンケート合計

①現在吉賀町にある「まんざいらく」を知っていますか？

②あなたは吉賀町の「まんざいらく」を受け継ぎたいとおもいますか？

	小学5年～中学3年		小学5年～中学3年
内容まで知っている	28 (57%)	柿木に住み、受け継いでいきたいと思う	7 (14%)
聞いたことはあるが、内容は知らない	11 (22%)	柿木には住まないが、誰かに受け継いでほしいと思う	22 (46%)
全然知らない	10 (21%)	受け継ぎたいと思わない	20 (40%)

これらの結果より、
受け継いでいこうと思っている人の数が非常に少ないことが分かった。

特に中学生だけを見ても1年生と2年生には、受け継ぎたいと思う人が0人だったことがわかる。

アントレプレナーシップを通して 堀田峻佑

①今回吉賀町の事について深く考えてみて、人口が少ない分、伝統文化を使い、観光客を増やして吉賀町を盛り上げようとしたが、難しいことが分かった。観光客を増やすことより、その地域の伝統文化が無くなる事が怖いのでこれからも吉賀町内にある伝統文化を絶やさないためにも自分ができることは積極的に取り組もうと思います。

②メンバーとの関係性は同じ部活仲間でもあったので互いに遠慮することもなく意見を言い合える事ができました。ポスター作りなどではみんな役割を決めて、協力してできたと思います。自分自身は話を聞いたことをパソコンにまとめるのがうまくいったかなと思います。

③来年度やってみたいことは、自分たちで吉賀町の為になるものや場所を作りだしてみたいなと思います。

アントレプレナーシップについて 田村薫

①今回のアントレで、萬歳楽という、下須の伝統文化について調べました。萬歳楽の名前と内容は少し知っていましたが、萬歳楽のことを地域の人やネットで調べると知らないことがたくさんあり、とても大事な行事だと知りました。あと地域の方も萬歳楽に対する愛と熱意がすごく、とても感動しました。ですが人が少ないためなくなってしまってもいいかなと聞き、萬歳楽を残したいと思いました。500年続いた伝統文化を僕たちの代で絶やさないようにしたいです。

②今回のアントレではグループがとてもよく、仲もとても深められたし吉賀町の人ともたくさん交流し吉賀町がどんな状況なのかわかりました。その状況をどう変えていくかを考えました。それをやっていくうちに物事を解決する力が身についたと思います。これを来年にいかしていき今回のアントレより、より良いことをしていきたいと思っています。

③来年度は自分たちだけでアプリを開発してみたいと思います。

アントレプレナーシップについて 斎藤大和

①今回のアントレを通して、萬歳楽について知ることができました。今まで萬歳楽の存在は知っていたけれど内容までは知りませんでした。色々な人の話を聞いていくうちに地域の方の地元愛や思いを、知ることができました。地域の方は伝統文化を今後受け継いでいけるかを心配していました。ですがアンケートを取ると受け継いでいきたいと思う人がいたので良かったです。これから吉賀町がよい町になるように頑張っていきたいです。

②今回のアントレでは自分たちで吉賀町の課題を見つけ、それをどう解決していくかを考えました。こうして考えたことをポスターやパソコンにまとめた。この活動を通して調べたことをまとめる力が身についたと思います。チームの関係性はとてもよく意見をたくさん出すことができました。

③来年はまたあたらしい班で頑張っていきたいです。

これで終わりです
ご清聴ありがとうございました

最終プランについて

→自分たちの手でキャラクターを作り、柿木に住んでいてまんざいらくを知らない人達に向けてPRを行う

PR内容は、萬歳楽の歴史を教え、今後受け継いでいく人が少ないということを伝える





(環境) 高津川を再び清流日本一に

1年I班 米原侑汰・増本絃樹・松前豊幸・桑名颯司



高津川を再び清流日本一に

吉賀高校1年アントレ I班

松前豊幸 増本絃樹 米原侑汰 桑名颯司



吉賀町フィールドワーク (8月23日)

・高津川に詳しい吉中力さんに話を聞き、ガサガサして実際に高津川に住んでいる生物を観察した。

1、吉賀町フィールドワーク前に考えていた「創りたい未来」

・吉賀町の現状

現状

オヤニラミなどの絶滅危惧種などが生息していて、水質的にも悪くない。

課題

今の現状をどれだけ維持できるか。

話を聞いて分かったこと

・高津川は限りなく清流日本1位に近かった
・高津川にも外来種は増えてきている
Ex ヌートリア、オオカナダ藻 ブラックバスetc

・創りたい未来

川の清掃を呼びかけるポスターなどを作って川をよりきれいにし、高津川を再び日本一にする。

吉賀町フィールドワーク (9月19日)

・ガサガサを主にやった
オヤニラミやカワムツ、カワニナなどを観察できた。



・実現のためのプラン

川の清掃を呼びかける、ポスターを作る



東京研修フィールドワーク（10月9日）

東京都建設局の河川部の方に話を聞いた。



話を聞いて分かったこと

- ・ 益田川と高津川は昔は繋がっていた。しかし、江戸時代に人工的に分断させた。
- ・ 高津川付近に流れていくはずの生活排水が益田川に流れていた。

話を聞いて分かったこと

- ・ 東京では、川の周りでイベントを開いたり、カフェを開いたりしてにぎわせていた。
- ・ 川をきれいにするため、川に酸素を送ったり、水流発生装置を使って流れを作り汚れが溜まるのを防いだりしていた。



3度のフィールドワークを経て考えた「最終プラン」について

- ・ 川の清掃を呼びかけるポスターの製作
- ・ 下流域の人との交流

最後に ～アントレを通して～

松前豊幸

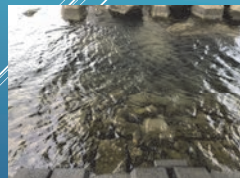
アントレを通して高津川の知らないことや分からないことが分かったので良かった次回は、今回と違う川で調査したい

桑名颯司

アントレのおかげで高津川の状態を知ることができた。来年は実際にCODを測ってみたい。

下流域の人との交流（アンダンテ21）

- ・ アンダンテ21の斎藤さんに話を聞いた。
- ・ 実際に益田川や高津川の下流に行った。



（1月31日）益田市内でアンダンテ21の斎藤さん

- ・ アンダンテ21の益田支部では高津川より益田川の清掃に力を入れていた。

米原侑汰

みんなで協力してアントレを進めることができました。今の高津川の現状を知るいい機会になった。来年は、今回とは違うことをやってみたい。

増本絃樹

四人で協力して高津川を清流日本一にしたい。高津川の知らないことや分からない所を知れたのでよかった。今回とは違う事がしたい。

高大協働研究「夏」2019

魅力化・一年部

1 趣旨

青山学院大学、法政大学等が行う「吉賀町訪問調査」と、本校1年生の「アントレプレナーシップ教育I」との連携事業。都市部の大学生と吉賀の高校生とが共に研究活動を行うことで、都市部と中山間地との違い等について互いに考える機会とする。また、「夏」の活動を踏まえ、10月には東京において、同じメンバーで高大協働研究「秋」を行う。

2 内容

【1年次 課題発見期】テーマ「吉賀町の課題を学ぶ」
～「農業・林業」「医療・福祉」「観光・ブランド化」「子育て」「伝統文化」等の観点から～
吉賀高校1年生32名による

高大協働研究を通して「気づき」「発見」
◎吉賀町の課題・特色・魅力（他者の視点・東京との対比）

3 日程

- | | |
|-------|---|
| 1. 日時 | 令和元年8月23日（金）9：00～16：30 |
| 2. 場所 | 林業センター |
| 3. 目的 | ①大学生と打ち解けあい、東京研修への期待を高める。
②協働研究や対話の醍醐味を知り、今後の探究活動を基礎付ける。 |
| 4. 時程 | 9：00～ 大学生挨拶・説明
9：10～ 班に分かれてのアイスブレイク（互いを知る時間）
9：45～ 班ごとにディスカッション「研究計画の作成」
10：45～ フィールドワーク
15：15～ まとめ
15：45～ 発表
16：00～ 最終ミーティング
16：20～ 大学生・高校生挨拶交換
東京研修へ向けての結団式
16：30 解散 |

8月24日（土） 田舎体験（有志参加）エコビレッジ主催

8月25日（日） 大学生交流「サバイバル体験 in 吉賀」（有志参加）町教委主催

2019 アントレ I 8/23FW(高大協働研究)

班	高校生	大学生	テーマ	実現したい未来	どのように?	FW先(8/23)	質問事項
A	下野翔輝	一宮奈桜	公共施設	吉賀の自然を生かし、人が集まる施設	・地元産の木を使って川にアスレチック施設(宿泊も近い所) ・ウォータースライダー、川下り、吉賀茶アイス	柿木プレーパーク 高尻ログハウス	①アイスの体験教室を開けるか ②アイスの製造方法 ③その他の体験教室について
	高橋那央子	東島今日香					
	田中陸士	(青山学院)					
	原啓佑						
B	青江聖	長谷友俊	子育て	子育てしやすい活気のある町	・高齢者、高校生、子どもの交流場所をつくる ・何か新しい体操などを考案	六日市保育所 こばと保育園(院内保育)	①町は具体的にどれくらいの支援をしているか ②空き家について ③イベント・行事を増やせるか ④中高生と子供の関わりを増やすチャンスを増やせるか ⑤保育園の遊具は増やせるか ⑥公園を新たに作ることはできるか
	明渡遼平	横龍生					
	岡本ひなた	依田真治					
	前田彩光	(法政)					
C	岡本陸都	田邊大我	子育て	吉賀の保育園と町の人がふれあう場をつくる	・町の良いところを使った企画を立てる	双葉保育所	①イベント・行事の計画の立て方 ②イベントの現在の課題 ③地域行事に参加している中高生の人数 ④高校生に実現可能な場づくりとは
	桑原涼華	野口祐哉					
	師井そら	(青山学院)					
D	田原匡悟	足立麻梨萌	医療福祉	医療無償化を継続させる経済の好循環	・お金を稼ぐ方法(販売、発電、観光など) ・健康作り増進、生活習慣改善	町役場 (保健福祉課) ふれあいサロン	①子育て世代にとって無償化の意義 ②その理由 ③六日市病院を利用するか ④高齢者とかかわる機会はあるか ⑤運動を今必要とするか ⑥親子で参加したくなるイベントは何か ⑦健康づくりプロジェクトに何があればうれしいか ⑧高齢者とかかわる必要性を感じるか
	深川心優	上野萌					
	中村彩七	(法政)					
	藤田晶斗						
E	米田晟輝	日向昌平	医療福祉	看護師不足解消	高校などで看護師体験をするイベント開催 医療に関するイベント開催	社会福祉協議会 (訪問看護) 特養老人ホーム 「みろく苑」	①今、困っていることは何か ②看護師不足はあるか、または今後不足するか ③看護師不足にならないためにどのような対策をしたらよいか ④なぜ免許を持っているのに看護師にならない人がいるのか ⑤看護師の仕事で大変なこと ⑥勤務体系(休日などはどれくらいあるか)
	河村奈央斗	磯貝優花					
	米原汰一	(青山学院)					
F	高橋沙依	高橋伸太郎	農業林業	吉賀米のPR	・県外にアピール ・多言語/パンフレット作成(可能ならWebも) ・吉賀生が吉賀米メニュー考案	注連川の種 土井さん	①吉賀の食べ物で県外などにアピールしているものはあるか ②米で困っていること ③後継者不足について ④インターネット販売をする上での注意点 ⑤米を使っただんな商品がほしいか ⑥どのくらいの費用が必要か ⑦商品開発しようと思ったら何から始めればよいか
	三家本瑛琉	須藤優士					
	赤松一希	(青山学院)					
G	河村日南	三戸部彩乃	観光 ブランド化	神社とお寺で観光客数UP	・神社とお寺で御朱印をもらえる日を作る ・神社めぐり祭り(神楽や屋台も) ・英語でマップ作り ・特産品を使った販売	新宮神社 誓立寺 ふるさと案内人 右田さん	①吉賀町のお寺・神社について ②神社の特徴と歴史 ③ご神体 ④御朱印について ⑤交通アクセス ⑥特産品について ⑦御朱印が無い場合新しく作れるか ⑧石見神楽の魅力・内容 ⑨神社・寺マップの作り方 ⑩商品を販売するまでの手順 ⑪お寺のSNS
	中村南緒	橋場健太					
	吉井美咲	栗田朋希					
	小原ひなた	(法政)					
H	齋藤大和	野方梨央	観光文化	「まんざいらく」で観光客UP ⇒まんざいらくを継承するために多くの人に知ってもらおう!	・「まんざいらく」をネットで広める ・有名人を呼んで町の紹介 ・「まんざいらく」でポスター(東京でPR)	赤松副町長 萬歳楽保持者会 会長下森さん	①人口減少のなかで地域の文化を継承する方法 ②若者たちに文化や伝統を知ってもらい継承してもらうには何が必要か ③萬歳楽をより多くの人に知ってもらい取り組みを今までしていたか ④社会教育ではこういう文化伝承に取り組めるか
	田村凜	杉本悠純					
	堀田峻佑	(青山学院)					
I	米原侑汰	青木みなみ	観光 農林業	高津川を再び清流日本一にしたい	・ポイ捨てをなくす運動をする ・環境にやさしい石けんなどの開発 ・生活排水をきれいにする運動	七日市川調査 吉中さん	①このままの環境だと今後どうなるか ②川が汚くなったらどうなるか ③川が汚くなると海の生物はどうなるか ④川をきれいにする方法として、EM石けんの他に何かがあるか ⑤下流の人もきれいにしようとしているか ⑥看板は立てているのか(ポイ捨て禁止など) ⑦EM菌の他に川をきれいにする菌はあるか ⑧川の濾過装置は作れるか ⑨インターネットの呼びかけはしているか
	増本絃樹	坂爪愛望					
	松前豊幸	(青山学院)					
	桑名颯司						

令和元年度 吉賀高等学校東京研修

1. 目的 本研修は、島根県中山間地域魅力化・活性化事業で「将来、直接・間接的に地域の活性化と振興に貢献できる人材育成という視点を持ちながら、あらゆる分野で活躍できる人材を育てるため、カリキュラムおよび指導内容に工夫・改善を加え、遠隔地の大学との連携を充実・発展させて、学年進行に沿った段階的なキャリア教育」であるサクラマス・ドリーム・プログラムの中核的な位置づけとなる研修を伴う学習である。

首都東京周辺での実習体験、見学等の学習活動を通して、生徒一人一人の地域発展活動への興味・関心を喚起し、主体的な進路選択に向けて自ら意志決定のできる能力を持たせることを目的とする。

2. 日程 令和元年10月8日（火）～10月11日（金）3泊4日

3. 参加者 1年生32名 引率者5名

4. 実習・研修地

- (1) 萩石見空港（益田市）
- (2) 参議院
- (3) 法政大学・青山学院大学
- (4) 東京スカイツリー
- (5) ディズニーアカデミー
- (6) Mランド（益田市）

5. 宿泊地 東京セントラルユースホステル（東京都新宿区神楽河岸1-1）

TEL 03-3235-1107

東京研修日程表

10月 8日 (火) 1日目

時間	スケジュール
8:40	朝礼 (教室)
9:00	出発式 (バス前 雨天時は職員玄関内) 学校発
10:00	萩石見空港着 研修Ⅰ【石見空港管理所等】 昼食 (弁当)
13:00	萩石見空港出発 航空機 (ANA576便)
14:30	羽田空港着
15:00	貸切バスにて移動
15:30	研修Ⅱ【参議院】
18:00	宿舎 (東京セントラルユースホテル) 着
	夕食 レポート作成 入浴
22:30	消灯・就寝

10月 9日 (水) 2日目

時間	スケジュール
6:30	起床・洗面・朝食
8:30	宿舎発⇒法政大学にて打ち合わせ⇒研修Ⅲ【地域巡検】へ
	昼食 青山学院大学キャンパスツアー
15:30~	青山学院大学にて合同研修
18:00	
19:00	宿舎着
	夕食 レポート作成 入浴
22:30	消灯・就寝

10月10日 (木) 3日目

時間	スケジュール
6:30	起床・洗面・朝食
8:00	宿舎出発 (電車移動)
9:00~	研修Ⅳ【東京スカイツリー】 (電車移動)
10:30	
11:30~	研修Ⅴ【ディズニーアカデミー】 (貸切バス移動)
21:00	
21:30	宿舎着
	入浴 荷物整理
22:30	消灯・就寝

10月11日 (金) 4日目

時間	スケジュール
6:30	起床・洗面・朝食
8:30	宿舎出発 (貸切バス)
9:30	羽田空港着
10:40	羽田空港発 航空機 (ANA575便)
12:15	萩石見空港着
12:45	貸切バス乗車
13:00	Mランド益田校着 昼食 (JIRO'S DELI)
13:45	研修Ⅵ【Mランド益田校】
14:30	Mランド益田校発 (貸切バス移動)
15:30	学校着 解散 (直接帰宅可、途中下車許可)

令和元年度 東京研修訪問先 10月9日(水)

班	①メンバー		引率	①訪問先・趣旨	②コース
A	一宮奈桜 東島今日香 (青学)	下野翔輝 高橋那央子 田中陸士 原啓佑	大木 先生	お台場海浜公園(東京港埠頭株式会社) : 地の利を生かした、観光客を呼び込む施設運営についてお話しを伺う。www.tptc.co.jp/	11:00 お台場海浜公園(見学・インタビュー) 12:00 昼食(アクアシティ・ピーナスフォート) 13:30 お台場出発 14:00 渋谷着 ジェラート屋 15:00 青山学院大学
B	長谷友俊 槇龍生 依田真治 (法政)	青江聖 明渡遼平 岡本ひなた 前田彩光	栗栖	こまじいのうち・こまびよのおうち(NPO) : 全年齢対象のたまり場。NPOによる運営。「こまじいのうち」に併設されている子供と保護者の遊び場も見学。	11:00~ こまじいのうち・こまびよのおうち訪問 12:30~ 昼食 昼食後都内観光 サンシャイン展望台
C	田邊大我 野口祐哉 (青学)	岡本陸都 桑原涼華 師井そら	山崎	文京区立湯島幼稚園(区立幼稚園) : 地域との関りがある、公立の幼稚園。	10:30 お茶の水駅→湯島幼稚園 12:30 上野(昼食) 14:00 原宿 15:00 青山学院大学着
D	足立麻梨萌 上野 萌 (法政)	田原匡悟 深川心優 中村彩七 藤田晶斗	寺崎 先生	墨田区役所福祉保健部保健計画課	13:00 墨田区役所福祉保健部保健計画課
E	日向昌平 磯貝優花 (青学)	米田晟輝 河村奈央斗 米原汰一	小笹	①東京都福祉保健局 : 医療政策、地域医療対策を行っている組織。東京の看護師不足など医療に関する問題について話を聞く。 ②グリーンポート恵比寿 : 介護老人保健施設。看護師の方の勤務状況やどのような気持ちで働いているのかについて話を聞く。	10:00 東京都福祉保健局 ※10分前に都庁第一本庁舎28階南側、内線33-316 →恵比寿駅 13:00 昼食・グリーンポート恵比寿 →時間があったら渋谷を經由し青山学院大学へ
F	高橋伸太郎 須藤優士 (青学)	高橋沙依 三家本瑛琉 赤松一希	渡部 校長	メルカード東京農大 : 今まで吉賀町の米について学んできたが、それが他の人の目にどう映るか、どのような点がセールスポイントとなるのかを発見することができる。	11:00 経堂着 11:30 東京農大にてお話を伺う → 農大で昼食 14:00 渋谷、表参道近辺を散策 15:00 青山学院大学着
G	三戸部彩乃 橋場健太 栗田朋季 (法政)	河村日南 中村南緒 吉井美咲 小原ひなた	河井	赤坂氷川神社 : 「神社と地域」の繋がりの大切さを感じられる神社。東京においても神社やお寺自体がそもそも存続の危機にある中で、氷川神社前禰宜が神社の現状に危機感を抱かれ、地域の人に地道に協力を仰ぎながら、赤坂氷川祭り再建などの活動をされてきました。前禰宜は残念ながら7年前に他界されてしまいましたが、紆余曲折を経ながら、弟さんがその遺志を継がれ、現在も祭事や活動が行なわれています。	10:00 飯田橋発 10:45 赤坂(氷川神社) 12:00 赤坂・六本木・乃木坂辺り (東京10社巡り<2~3社>) 13:00 食べ歩き(原宿) 14:00 明治神宮(原宿練り歩き) 15:00 青山学院大学着
H	野方梨央 杉本悠綺 (青学)	齋藤大和 田村凜 堀田峻佑	樋田 大 先生	墨田区役所観光課 : まんざいらくという文化を若者に発信するというテーマに沿って観光課へ。	11:00~13:00 浅草寺、食べ歩き、体験 13:00~14:00 墨田区観光課
I	青木みなみ 飯爪愛望 (青学)	米原侑汰 増本絃樹 松前豊幸 桑名颯司	中村	東京都建設局河川部計画課で隅田川についてのお話 その後、お台場海浜公園へ : 東京都が行なっている水質美化の活動内容、川辺の観光事業について、隅田川周辺に人を再び集めようという隅田川ルネサンスの活動内容についてお話を聞く。その後お台場海浜公園へ行き、水辺の様子、オリンピックで使われる予定の海周辺の様子や人々の関わりを観察する。	10:30 市ヶ谷駅出発→都庁前駅へ【電車17分】 11:00 河川部企画課の方にお話を聞く。質問をする。 12:00 東京都建設局出発→お台場海浜公園駅へ【電車40分】 ゆりかもめに乗ってお台場周辺の景色を眺めます! ✨ 13:30まで 昼食 東京でしか食べられないものがあるといいですね! 13:40から フジテレビ~海浜公園を散策!!! 水辺にどのように人々が親しんでいるのか観察。 オリンピックで使用される海、川の様子も観察。 14:20頃 お台場海浜公園駅出発→表参道【電車35分】

2019/10/8~11 1年生東京研修



2年生



よってらっしゃい・みてらっしゃい こだわり満天★～吉高クッキング～

2年1班 友重有加里・齋藤幸愛・竹岡摩耶・多賀万恩・齋藤架歩

よってらっしゃい・みてらっしゃい
こだわり満天★
～吉高クッキング～

1 私たちの願い
吉賀町産のものを多くの人に知ってもらおう。
↓
様々な年代の人々に食べられるものを作る。

2 成果
・ビスケット **T** with **B** という良いものができた。
・きんみん祭でたくさんの方に食べてもらい意見を聞くことができた。
・自分たちに足りない部分があることが分かった。

3 今後の展望
○クッキーのレシピの再確認
○商品化(できれば)
○イベントなどで販売し、知ってもらおう

4 活動から学んだことと自分達の成長
〈学んだこと〉
・商品を開発するには、専門の知識が必要。
・吉賀町には美味しい食材が沢山あった。

〈自分達の成長〉
・人前で発表が出来るようになった。
・1つの事について詳しく追究できた。

紅茶作り
〈作り方〉

- 1 お茶を摘む
- 2 葉を干す
約1週間
- 3 葉を細かくする
- 4 蒸す
細かくしたものをセロで蒸す
- 5 完成

商品開発💡
麴入りの甘酒で挑戦!
↓
草の庭へGO
↓
ブルーベリーサント
↓
ティップ式に変更
追加(にんじん かぼちゃ フラッカー)
↓
・にんじんビスケット
・かぼちゃビスケット
+
・ブルーベリークリーム
・豆腐クリーム
・紅茶
↓
きんみん祭で販売!

ビスケット **T** with **B**

ビスケット × **T** (豆腐クリーム (Tofu)) × **B** (ブルーベリークリーム (Berry))
お茶 (Tea)



みんな

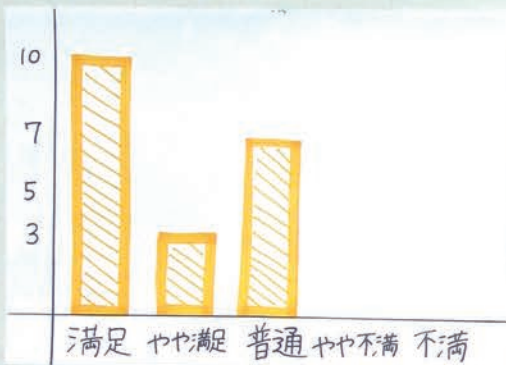
なの

の

声



見た目



Good Point ↗

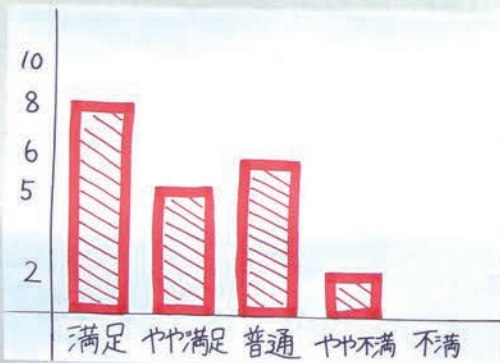
- 色・形がかわいい
- 手作り感がある
- 色付きが良い



Bad Point ↘

- 形がバラバラ
- 型を使うと良い
- 薄べったい
- もっと華やかでも良い

味



Good Point !

- 甘さがひかえぬ
- 紅茶と合う
- かぼちゃがおいしい

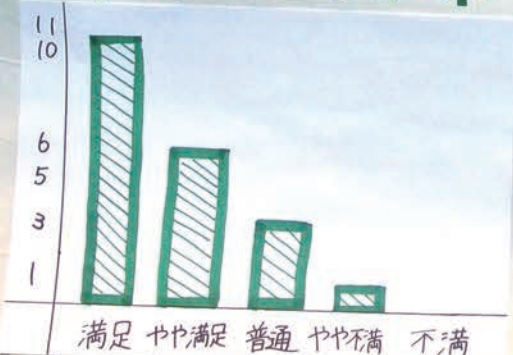


Bad Point !

- かぼちゃとにんじんの味の
違いが分からない
- かたい



クリームの味



Good Point !

- 甘すぎず良かった
- 豆腐の味がよく出ている
- 素朴な味



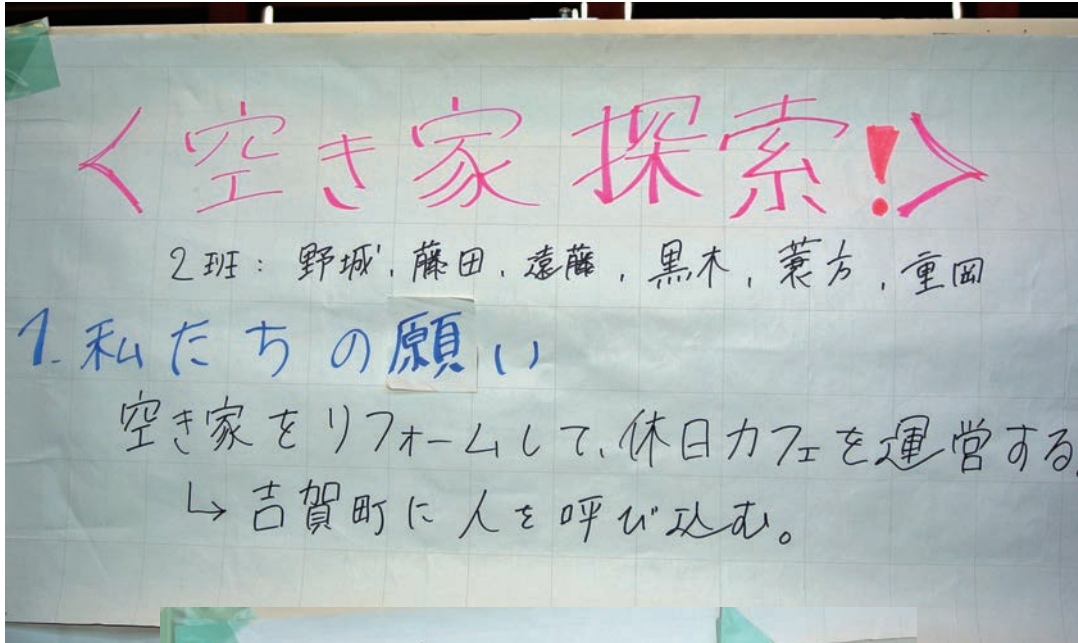
Bad Point !

- 豆腐の味を強調しすぎている
- 豆腐クリームは、もっと濃厚の方が良い
- 味があまりしない



空き家探索！

2年2班 野城琢人・遠藤愛己・藤田寛一・黒木愛華・蓑方琴音・重岡優菜



Ku-fuku

名畑さんの
リフォームカフェ



みずとき

アレオ-ポ-で
かかります!



2. 活動内容

① 「草の庭」

メニュー、値段、仕入方法
リフォームの様子



② 名畑さんの家のリフォームカフェ

メニュー、値段
リフォームについて、空家情報

③ 「すみた」の物件を紹介される

「すみた」の見学
「リエスタ」の見学 ⇒ 「すみた」に決定!



④ 「みずとき」の見学

メニューの相談 ⇒ カレ-に決定
リフォームについて



⑤ 事件発生!

お金がない事件



アレオ-ポ-
リフォームの想い
募金方法

結果

ハヤハキ事件



「すみた」で
作業の危険

⑥ 新しい物件探し

カヌヤ横の小屋 X (持ち主が町外
高齢)

元高屋
保育所

備中屋 X (応じていない) ・メニュー決め

スナック X (人が使っている) ・塗装

ガソスタ跡 X (時々使用) ・DIY

元金物屋 X (車庫で利用) ・PR

めだか X (時々使用) ・アレオ-ポ- (みずとき)

元薬局 X (持ち主が町外
物置で利用)

3. 成果

- ・空き家はたくさんある。(町外れ)
 - ↳ 車庫や物置などに使われている。
 - ↳ カフェに適した場所がない。
(5月の火事で焼失)
- ・持ち主が町外に住んでいる。(管理がむずかしい)



4. 活動内容と成果

・キヌヤさんと交渉

→ キヌヤさんと協力して地域貢献

〈例〉・待ち時間をカフェにする
(「バス、買い物など」)

・民間企業と高校生との繋がりをつくる

➡ **交渉成立!!**

・スープの試作

〈試作材料〉

- | | |
|-------|--------|
| ・大根 | ・卵 |
| ・にんじん | ・ウインナー |
| ・たまねぎ | ・コーン |
| ・パセリ | ・コンソメ |



5. 今後の展望について

空き家で休日カフェ ➡ キヌヤでカフェ

・提供物(予定)

- ・コーヒー・お茶等...**無料**
- ・手作りスープ等...**有料**

・日時(予定)

3月20日(金・祝)

11:00 ~ 15:00

手作りスープについて

吉高で育てた
大根(無農薬)使用



6. 活動から学んだこと 私自身の成長

- ・コミュニケーション力がついた
- ・協力することの大切さを知った
- ・プレゼン力がついた
- ・行き詰まったとき臨機応変に対応できた
- ・地域の方と話すことにより、たくさんの情報が手に入る



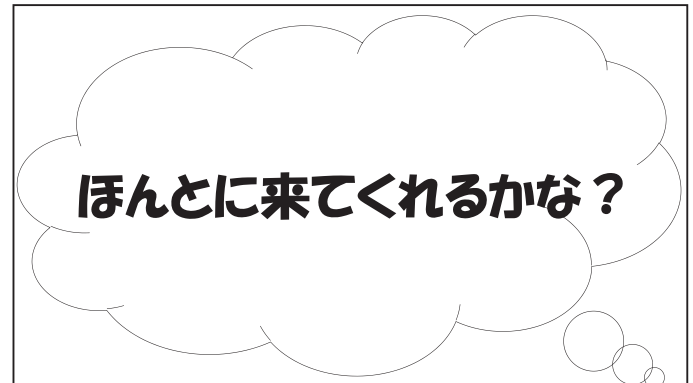
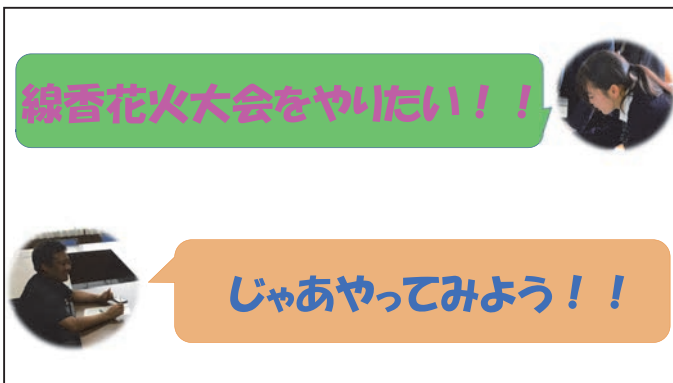
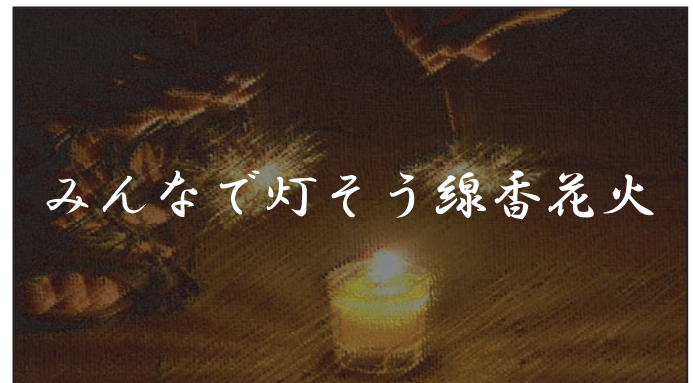
小さな町の小さな保育所“木部谷”で

大きな夢を+線香花火

2年3班 橋本菜々・正中みほ・青江彩乃・中村真由夏・中村舞夏



吉賀町を活性化させて
この町に人を呼び込む！



ほんと!
50人以上の
参加者が！！



○アンケート質問内容

- ・年代
- ・イベントを何で知ったのか
- ・どんなイベントがあればいいと思うか

実行委員長の佐伯さんの感想

○良かった点

- ・いろいろな人が参加し喜んでくれた。いい企画だった
- ・あんなにたくさん並んで線香花火をしている光景を作り出していて素晴らしい
- ・今までは音楽だけだったけど、高校生が入ることで盛り上がった

○アドバイス

- ・実行委員会に「こんなことをしたい」ともって言って欲しい

木部谷保育所

廃園の危機！！(園児数4人)
子育て世代の人に来てほしい

内容

吉賀町の良さと木部谷保育所の魅力を県外の人に伝えられるパンフレットを作る

2019年8月22日 園長先生・保護者会長さんと打ち合わせ

二か月前

8月23日 レイアウト作成

10月4日 1回目のパンフレットが完成

一か月前

10月7日 保育士さん・園長先生・保護者会長さんによる修正

要望に完璧に応えたい
→広島での配布を断念
東京での配布を目指す

10月11日 2回目のパンフレットが完成

11月10日 田原園長との最終調整

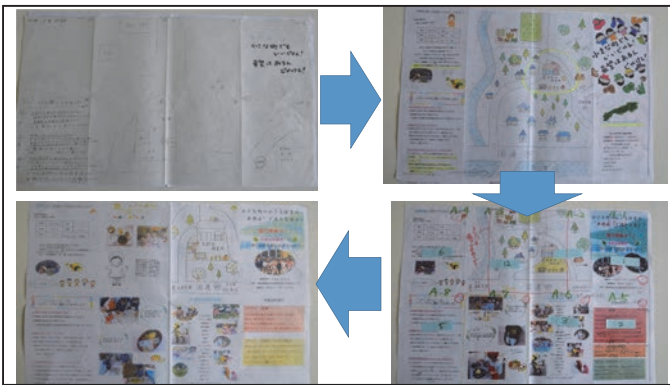
11月12日 パンフレットが完成！！

U・Iターンフェア 4日前

11月15日 100枚印刷する

U・Iターンフェア 前日

11月16日 U・Iターンフェア in 東京で配布



～線香花火～

- ・高校生が動くことで様々な人が関わってくれることに気が付いた
- ・吉賀町ならではの温かさに気付くことができた
- ・企画や運営の大変さを学ぶことができた
- ・イベントをやり終えた充実感があった



園長先生の感想



～パンフレットづくり～

- ・1つのものを作り上げるには多くの時間やたくさんの人の協力が不可欠だと学んだ
- ・今の活動で終わらずに持続可能な活動にすることが大切

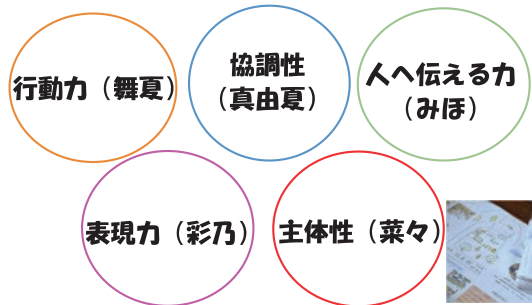
○良かった点

- ・意見がしっかりまとめられていた
- ・要求に対しての対応がよかった

○アドバイス

- ・地域と交わるイベントを大切にしてほしい
- ・もっといろいろな人に意見を聞いてほしい

私たちが成長したこと



○これからの活動

- ・リニューアルできそうなイベントを調査する
- ・子育て世代にパンフレットを見てもらえるようなイベントを探す

私たちの感想

みんなで灯そう
線香花火

願い
「今あるイベントを盛り上げたい」

● 活動内容
野外音楽フェスティバル調査
線香花火大会実践

線香花火大会の打ち合わせ

女子の部

男子の部

● 新たな課題
アンケートをもとに今あるイベントを子どもから高齢者まで楽しめるイベントにリニューアルする。
線香花火大会の反省を次に活かす。

今後の活動

3 班
青江・正中・中村夏・真・橋本

リニューアルできそうなイベントを調査する。
⇒ アンケート結果を参考にイベント内容を考案する。

子育て世代にパンフレットを見てもらえるようなイベントを探す。
⇒ パンフレットを印刷会社に依頼して印刷してもらう。
⇒ イベントで配布

余力があれば新しいイベントを考案する。
(アンケート結果を参考にしたもの)

小さな町の小さな保育所
“木部谷”で大きな夢を!

● 願い
「UIターンの人を増やして吉賀町を盛り上げよう!」

● 木部谷保育所訪問

8/22	園長先生とUIターンの高橋さんにインタビュー
8/23	レイアウト
9月上旬	修正
10/7	“
11/15	完成
11/16	UIターンフェア in 東京で配布





インスタ映えするアスレチックを作る

2年4班 武岡梨緒・井本美羽・西藤未優・中村悠馬・芦田健翔・中島璃久



計画

- ・ターザンロープ
 - ・ブランコ
 - ・ハンモック
 - ・ジップライン
- 柿木プレーパークに作る

アントレプレナーシップ活動

普段は生徒6人+担当の先生、田村さん



実行

まずはターザンロープ、ブランコ作り



目的

- ・吉賀町に人を呼びこむ
- ・県外の人に吉賀町の魅力を発信する



- ・インスタ映えスポットを作る
- ・山にアスレチック施設や公園を作る

ジップライン作り



視察

- ・益田市→「あんな坂こんな坂」
- ・柿木→「プレーパーク」

どちらも手作りアスレチック!



自分たちで試乗してみて...

- ・大人でも子供でも楽しめる感じがした
- ・思ったよりスピードが出た
- ・調整が難しかった

何よりも

楽しかった!!!

イベントの企画

- ・作ったアスレチックを活用
→柿木保育所の年長と遊ぶ
- ・ベルトとヘルメットで安全面を確保



活動を通して…

- ・林業や自然についての知識が増えた
- ・地域との関わりが大切だと分かった
(関わってくれた方の温かさ)
- ・諦めない心が大切

初めてだらけの私たちでも
たくさんの人の支えがあっ
て、作ることができた！

イベントの反省

- ・もう少し遊具を増やす
- ・人手不足
- ・安全性の強化



→次にイベントするときに改善

ご清聴ありがとうございました



インスタ映えする看板作り

- ・アスレチックだけではインスタ映えしない

壁を作ろう！！



※イメージ

壁を作っている様子

誰でも利用できる→黒板塗料を使用



今後の活動

- ・インスタ映えする看板作り
- ・発信の仕方 (SNS、チラシなど)
- ・安全面の配慮
- ・イベントの開催



持続するために…

- ・定期的にプレーパークに行く
- ・子どもたちを呼んで遊ぶ
- ・改善点を見つけて改善する



インスタ映えする

アスレチックを作る



7 member Q # Mayumi # Rio # Miu # Miyu # Riku # Yuma # Kensho

私たちの願い

- アスレチックを作りたい
- 吉賀町に遊ぶ場所を作りたい

活動内容

- 益田の「あんな坂こんな坂」に視察に行った。
- ワイヤーを張ってアマバチ飛行を作った。
- イベントに向けて他のゲームができるような準備をした。

① 視察



③ イベント



② 試作・制作





2nd



成果

- ターザン、ブランコ、7マンバチ飛行のアスレチックを作った。
- 追加で竹のゲーム、シーソーおぼいしゲーム、バケツのゲーム、橋わたりのゲームを作った。
- 子どもは楽しかったと言っていた。
- 子どもたちを楽しませることができた。

新たな課題

- インスタ映えする看板を作る。
- このアスレチックに人が多く来る方法を考える。

今後の活動

- 看板作り
- インスタで発信する。
- いろんな人に遊んでもらう。
- 新しい遊具を作る。
- イベントを開催する。





高津川で遊ぼう！

2年5班 坂内隆斗・河村斗希也・齋藤和駿・新藤樹・
富安零音・松田章弘・井上智大

高津川で遊ぼう！

5班メンバー
坂内 河村 齋藤 新藤
井上 松田 零音

動機

- 高津川流域で毎年真夏に子どもたちが楽しく泳いでいるが、真夏に都心部へへ行くと、川で遊ぶ習慣がない。

⇒吉賀町の遊べる川スポット、楽しさを知ってほしいため。

活動内容

- マップにのせる川を選ぶ。
- 実際に川に行き、泳いでみて調査をする。
- 吉賀町の地図を描いて、マップの作成、レイアウトを考える。

印刷へ



新たな課題

ゴミが増える可能性がある。



それに対するゴミ対策



校内発表後の活動

- マップ完成へ向けての取り組み (イラストをかくなど)

今後の展望

- 作成したマップを置いてもらえる場所をさがし、置いてもらう。
- ゴミ対策の活動を考え、実行する。

自分達の成長

- 役割を分担することができるようになった。
- 川についての知識が少なかつたが、実際に調査をすることで知識が深まった。
- 一人一人が自分で仕事を見つけて行動できるようになった。

2年5班

高津川で



<p>六日市 谷尻橋</p>  <p>きれいさ $\star\star\star$³ 水深 2m 30cm 駐車 3~5台</p>	<p>朝倉 七日市 蓼野</p>  <p>きれいさ $\star\star\star\star$⁴ 水深 2m 20cm 駐車 なし</p>	<p>朝倉 七日市 高尻ログハウス</p>  <p>きれいさ $\star\star\star\star$⁴ 水深 2m 20cm 駐車 あり</p>
<p>柿木 杉山橋</p>  <p>きれいさ $\star\star\star\star$^{3.5} 水深 4m 20cm 馬車 3~4台(道端)</p>	<p>柿木 とちぎ</p>  <p>きれいさ $\star\star\star\star$^{4.5} 水深 2m 60cm 駐車 4~5台</p>	<p>柿木 道の駅裏</p>  <p>きれいさ $\star\star\star\star$^{3.5} 水深 6m 10cm 駐車 6~7台</p>

※高津川の水質向上のため、ゴミのお持ち帰りにご協力下さい。

2km

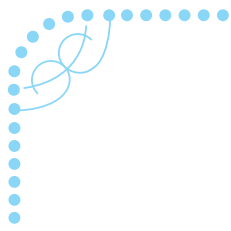
柿木から六日市まで

高津川遊びMAP

高津川とは、島根県西部を流れる日本唯一の第一級河川で、吉賀町の大蛇ヶ池が水源です。80種類以上の魚類が生息しているとわかっていて、インドジョウやインドシロなど新種も見つかっています。また、国土交通省の水質ランキングでは、何年度も水質日本一に輝いています。清流ならではのワサビ栽培やアユなどが名産品です。

- ケヤキガルテン
- 杉山橋
- 沖河内
- 柿木村
- とちぎ
- 福川
- ポケットパーク
- 七日市
- 高尻リバーハウス
- 蓼野
- 谷尻橋
- 塔野橋

<p>柿木</p> <p>ケヤキガルテン</p> <p>きれいさ ★★★ 水深 3m40cm</p> <p>駐車 4台 飛び込み初心者向け</p>	<p>柿木</p> <p>杉山橋</p> <p>きれいさ ★★★★★ 水深 4m20cm</p> <p>駐車 3~4台 (道端) 飛び込み上級者向け</p>	<p>柿木</p> <p>沖河内 (おきがわち)</p> <p>きれいさ ★★★★★ 水深 3m40cm</p> <p>駐車 3台 (家の前) 水切りに向いている</p>	<p>柿木</p> <p>道の駅柿木村裏</p> <p>きれいさ ★★★★★ 水深 6m10cm</p> <p>駐車 6~7台 家族向け</p>	<p>柿木</p> <p>とちぎ</p> <p>きれいさ ★★★★★ 水深 2m60cm</p> <p>駐車 4~5台 水がキレイ</p>	<p>柿木</p> <p>福川</p> <p>きれいさ ★★★★★ 水深 3m10cm</p> <p>駐車 2~3台 川初心者向け</p>	<p>朝倉・七日市</p> <p>ポケットパーク</p> <p>きれいさ ★★★★★ 水深 1m50cm</p> <p>駐車あり 川流れに向いている</p>
<p>朝倉・七日市</p> <p>七日市</p> <p>きれいさ ★★ 水深 まばら</p> <p>駐車あり 周りに施設がある</p>	<p>朝倉・七日市</p> <p>高尻ログハウス</p> <p>きれいさ ★★★★★ 水深 2m20cm</p> <p>駐車あり ロープでの飛びこみ</p>	<p>朝倉・七日市</p> <p>蓼野</p> <p>きれいさ ★★★★★ 水深 2m20cm</p> <p>駐車なし 自然を味わえる</p>	<p>六日市</p> <p>谷尻橋</p> <p>きれいさ ★★★ 水深 2m30cm</p> <p>駐車 3~5台 魚がいた</p>	<p>六日市</p> <p>塔野橋</p> <p>きれいさ ★★★★★ 水深 1mくらい</p> <p>駐車なし 浅いから安全</p>	<p>高津川を楽しむためのオススメアイテム</p> <ul style="list-style-type: none"> 釣り竿&バケツ ボディボード 虫取り網&水槽 水鉄砲 安全に遊ぶための道具 救急箱 ロープ うきわ 保冷剤 虫よけスプレー 救命胴衣 真水 塩分補給の飴 	



それいけコッペパン

2年6班 千葉優希・高杉奈々子・中村妃乃・中村舞




②コッペパンの具の 検討・試作について

おから入り和風コロッケ

ハンバーグ

- ・ヘルシーで吉賀町でも手に入る
- ・高齢者の方でも食べやすいと思った

- ・作りやすく、私たちが食べたと思った
- ・コロッケと比較しやすい



願い

コッペパンの売り上げでよしかの里で働く利用者さんの工賃が上がること。

※よしかの里...障がい者福祉施設

コロッケとハンバーグが完成するまで

おから入り和風コロッケ きくらげ・おから入りハンバーグ

①1回目の試作
「バサバサ」と指摘
→出汁の量を調節

②2回目の試作
「しっとりしたコロッケ」
よしかの里の方に試食してもらった

①1回目の試作
「バサバサ」と指摘
→水切り豆腐を入れた
「食感が足りない」
→きくらげを大きめに切る

主な活動内容

- ①よしかの里へ訪問
- ②コッペパンの具の検討・試作
- ③イベントでアンケート・試食
- ④産業課の早田さんとお話し
- ⑤よしかの里の谷川さんとお話し
- ⑥加工所責任者の山脇さんとお話し
- ⑦試食（ジャム）

③イベントで アンケート・試食について



100人に食べてもらいアンケートをとった
(おから入りコロッケ、きくらげ入りハンバーグ)



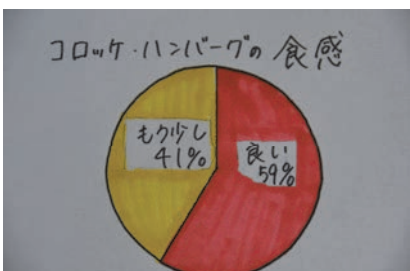


①よしかの里への訪問について

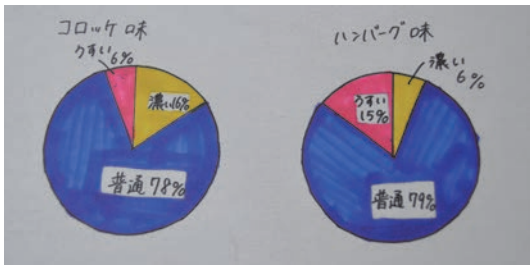
→利用者さんのできることがどこまでなのかを把握
・自分たちが思っていた以上にできることが多い。
・施設が新しくなることを知り、作れる種類が増える

アンケート結果 (1)



アンケート結果 (2)



⑤よしかの里の 谷川さんと話し合い



④産業課の 早田さんと話し合い



「一旦コロッケ・ハンバーグは考え直すことに」

反省・新たな課題

- コンセプトを見失っていた
- 価格について
- 冷凍庫に入るものが限られる

発見・気づき

- よしかの里で1日に作れるのは5種類が限界
- パンのサイズ・硬さの変更は可能
- よしかの里での販売ができる
- 地域の方との協力で賛成

反省・新たな課題

- パンにボリュームがありすぎた
- パンのサイズが大きい
- 味が濃い



⑥加工所責任者の 山脇さんとの話し合い

発見・気づき

【材料や特産品について】

- 吉賀町には特産品がない
- ➡ 吉賀町にあるものを使い、「吉賀町らしいコッペパン」にする
- 中身が柔らかいとパンに負けてしまう
- 吉賀町には豚肉がない
- 卵はたくさんある

発見

- 子供が嫌いな野菜をジャムにする
 - ➡ 食べやすくなる
- 商品にならないものを使う
 - ➡ 無駄にならない
- 農家さん
 - ➡ 自分で作った野菜を加工している

【売り方について】

- 限定品 ➡ 人が来る
- 種類が多い ➡ 人が絶えない
- その場で詰める「カスタマイズ式」
 - ➡ オリジナル商品完成
- 吉賀町のお店を巻き込む
 - ➡ 作れる種類が増える

発見

- 売るときにストーリー性・農家さんの顔が分かる
 - ➡ お客さんが惹かれる
- 原材料を冷凍する
 - ➡ 計画的に使うことができる
(長期間販売ができる)
- 私たちの新たな役割
 - ➡ よしかの里と農家さんを繋げる

⑦試食(ジャム)



使用したジャム

・ブルーベリージャム：柿木産・720円



・いちじくジャム：柿木産・600円



・しょうがジャム：柿木産・750円



・にんじんジャム：柿木産・600円



活動を通して成長したこと

自分から行動できるようになったこと (ゆうき)

遠慮せずに意見を伝えられること (ひめの)

先のことまで考えながら活動すること (まい)

人と話したり説明したりする力 (ななこ)

ご清聴ありがとうございました。

将来的に

- ・出来上がったジャム
 - ➡「四季のジャムを挟んだコッペパン」として販売する
- ・利用者の方がコッペパンにジャムを絞って販売する
 - ➡「対面式販売」ができればいいと思う
- ・コッペパンを売るだけでなく、収穫から販売までを利用者の方も関わる
 - ➡地域とのつながりを生み出したい
- ・将来的に利用者の工賃につながればいいと考えている

今から行動しなければいけないこと

ジャム

- ・ジャムの生産者との価格相談
- ・趣旨を理解していただいて、ジャムを作っていたらどうかの交渉

よしかの里

- ・よしかの里への報告と協力の依頼
- ・コッペパンの価格設定
- ・パンの試作…よしかの里のコッペパンを作っていただく依頼

試食会

- ・試食およびPR
- ・第一弾の販売日時の設定の相談
- ・販売時の協力体制

それいけこ

メンバー：千葉、高杉、中村、中村

お願い

私たちが考えたコッペパンが売れて、よしかの里で働く障がいがある人たちの工賃が上がること。

活動内容

① よしかの里での体験

② 試作(1回目)

成果

自分たちが思っていたよりも利用者さんが多いと分かった。

味はほめられた

コンセプトを聞かれ、困った。

➡ 目指すものが再確認できた

おからハンバーグ

おからコロッケ

※ 吉高ライスバーガーのソースを使用

③ 試作<2回目>

<きん祭みん祭2日前>

■ 改良した

- おからさくらげハンバーグ
- おからコロッケ

食感が足りない
→ さくらげを足して食感UPさせた

パサパサ感あり
→ だしの量を調節ししっとりとしたコロッケに

④ きん祭みん祭<当日>

目標 2種類のコッペパンを100人に食べてもらう。
100人からアンケートをもらう。



⑤ 専門の方とお話

早田さん

- 吉賀町の特産品(ほい)
- 吉賀町にあるものを使う→吉賀感が出る
- 「限定」を付ける→人がよってくる
- 吉賀町のお店と協力
- 「種類多」→人が絶えない
- カスタマイズ式で楽しい

谷川さん

- コンセプトがあれば何を作ってもOK!
- 調理は何でもできる
- パンの工夫は可能
- よしかの里での販売ができる



⑤の詳細

- 早田さんとの話し合いで出た中身の具材をまとめました

<p>●めん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまそば ・ナポリタン 	<p>●コロッケ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃがいも ・かぼちゃ ・さといも 	<p>●たまごサンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆで卵 ・だし巻き卵 ・スクランブルエッグ 	<p>●ネリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パプリカ ・パセリ ・しそ
<p>●クリーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きなこ ・ピーナッツバター 	<p>●ジャム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イチゴ ・イチゴ ・キウイ ・ゆず ・ブルーベリー 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドライカレー ・なすとミートソース ・ナリコンカン ・アイス ・クリーム 	

今後の活動

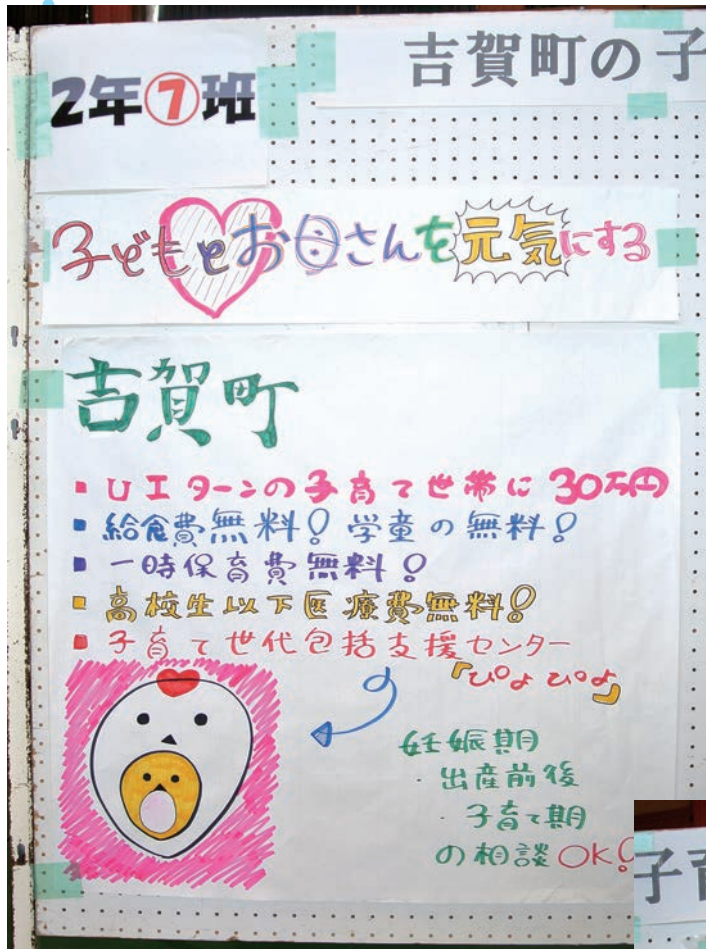
- 具体的にコッペパンの中身を考える


	春	夏	秋	冬

※考え中なので空白です。

吉賀町の子育て

2年7班 田原魁晟・椿武士・小倉美羽・木東地小鳥羽





今後
 もう一度イベントを開く

① **キズリ**
カイロ
 をいっしょ
 づくる

SMILE

② **対象年齢**
 0才
 ↓
 1~2才
 に引きあげる

継続するには...
 イベントを知ってもらう ▶ チラシをつくる
 参加者に「フィードバック」してもらう
 イベントの**内容変化**
 新規参加者の獲得
 このイベントで**しか**できないことを！
 SNSでの活動報告 ~ etc

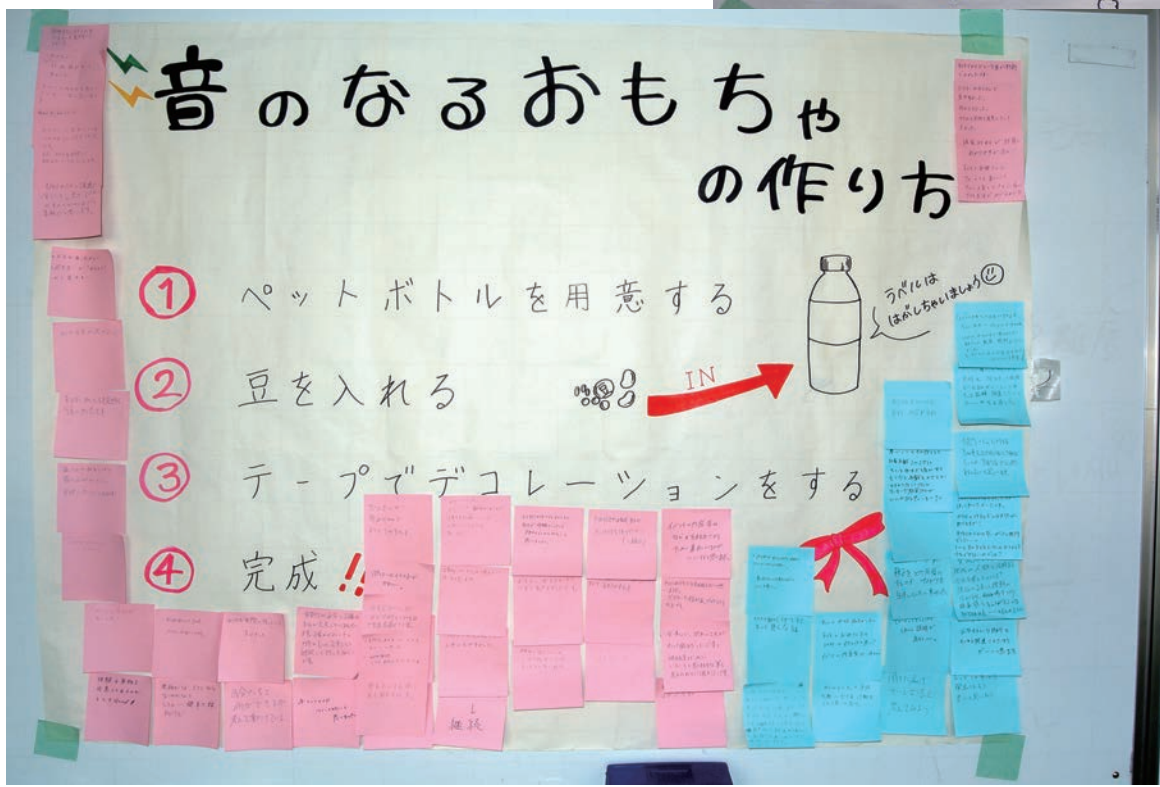

学び

子育てサロンは吉賀町に住む親子
 にとって大切

吉賀町は地域住民の手当てが充実

成長

積極的な企画・実行ができるようになった
 発表会などでの発言力UP↑



1年生講評

1年生 A班 講評者 樋田大二郎 先生【青山学院大学教育人間科学部教授】
<p>スタートの段階では地域に無いものを考えて、それが地域に必要なのか否かを吟味せずに欲しがりました。しかし、フィールドワークをすすめる中で、吉賀町にあるものに目を向け、吉賀町にあるものを活用しようと思いました。</p> <p>今後は、お客さんが何を求めているのか、お客さんの無意識まで含めて考えるとよいと思います。また、みなさんが作ろうとしているものが吉賀町の自然や文化と合うのか否かも考えてください。</p>
1年生 B班 講評者 樋田大二郎 先生【青山学院大学教育人間科学部教授】
<p>個々の家族が子どもを育てることには限界があります。地域に着目したのはすばらしいと思います。ただし、地域という言葉はマジックワードであり、素晴らしい可能性を持っていますが、逆に地域という言葉を使うことで思考がストップすることもあります。</p> <p>みなさんは、地域の誰、どのような文化、どのような資源を使って、子どもや母親のどのようなニーズにこたえますか？宣伝や広告はただ漠然と伝えるのではなく、ターゲットのどのようなニーズ、どのような感情に何を訴えるのでしょうか？</p> <p>「地域」の中味が何なのか。子どもや保護者がどのようなニーズや感情でいるのか調べると、現実至今已以上に深まりが出ると思います。</p>
1年生 C班 講評者 樋田大二郎 先生【青山学院大学教育人間科学部教授】
<p>ポスターセッションで「地域の輪」という言葉があったのが印象的でした。子どもにとって「中高生」のお兄さんお姉さんと交流することは大切なことです。</p> <p>ところで、みなさんはなぜ他県の中高生ではなく地域の輪なのですか？また、なぜ近所の大人ではなく中高生なのですか？また、みなさんが遊びやイベントで子どもと関わった時には楽しいですか？そして何が得られますか？ぜひ一度実際に子どもと関わってみて、そこで気づいたこと、感じたことをまとめてみてください。</p>
1年生 D班 講評者 寺崎 里水 先生【法政大学キャリアデザイン学部教授】
<p>健康増進活動をしたい、というのは楽しくてよい。東京でのフィールドワークで「イベントを企画するのはいいけど、問題はそれをどう維持するかですよ」と言われたことを覚えているだろうか。</p> <p>特に健康増進の活動は一時的ではなく、継続することに意味があるので、ポイントは新しく提案した活動をどうやって続けさせるかという点にある。<u>さて、どうやって？</u>これは「何をやるか」を提案するよりも重要で意味があるのでぜひ考えてほしい。</p> <p>1つ気になっているのは、吉賀町の高齢者は、他の町の人に比べて「健康ではない」んですか？ということ。いま不健康だから「健康になろう」は理解されやすいし、やってもらえるけど、いま健康で「それを維持しよう」はおずかしそう。どっちですか？</p>
1年生 E班 講評者 寺崎 里水 先生【法政大学キャリアデザイン学部教授】
<p>現在は問題がないように見える吉賀町の看護師数について、今後のリスクを見込んで対策を考えようとする態度にとても好感を持った。また、フィールドワークで得た情報を公的なデータで確認する姿勢も好ましい。今後の課題は、看護師不足の原因をていねいに分析し、いかに妥当性があり、かつ効果のある対策を提案できるかにある。</p> <p>自分たちもなろうと思わない看護師について、なぜなろうと思わないのかに向き合い、労働条件やキャリア展望、地域間格差といったより大きな社会的課題とのつながりを見出せるとよい。単純な解決策に見える一時的なイベントではない「結果」(行動)に期待する。</p>

1年生 F班 講評者 寺崎 里水 先生【法政大学キャリアデザイン学部教授】

休耕地を減らしたいという日本全国共通の課題と、吉賀米を町外の人にも知ってほしいというローカルな課題を、どうにかして両方解決という高い意識は評価できる。が、1つ1つでいねいに課題と向き合うというステップはやはり大事にしたほうがよい。

休耕地の問題は他の地域とも共通なので、たくさん参照するものがあるだろう。(高齢化とか過疎化とかも絡めて。)

吉賀米はどうして町外の人知ってほしいのか、理由を考えてほしい。(大人気になって価格が高騰して入手がむずかしくなったら個人的にはイヤです。)

東京の人間から見ると一番おいしいのはたきたての白米なので、それをいかにおいしく食べるかという観点での商品開発をしてほしい。(ごはんのおともを開発してほしい。たとえば鮎とか味噌とかおいしいものが吉賀町にはたくさんあるので。)

1年生 G班 講評者 樋田有一郎 先生【日本女子大学家政学部学術研究員】

複数の神社を実際に訪問して調査した内容の重みを感じました。参拝者数が少ないので観光客を増やそうという問題意識からスタートして、観光化の困難さに気がついた点も重要だと感じました。神社を地域の伝統文化と考えるか、観光資源と考えるかで、違った参拝者数を増やすアプローチがあると思います。神社の本来の意義を大切にしたいという考えを持たれているのがおもしろかったです。

1年生 H班 講評者 樋田有一郎 先生【日本女子大学家政学部学術研究員】

萬歳楽について実際に地域の人たちの話を聞きながら深く考察している点がすばしかったです！一番印象に残ったのは、地域の人たちの声から、萬歳楽を観光資源化することの難しさに出会ったことだと思います。伝統文化がすぐに観光資源とにならないことの原因を考察して、本当に町民や町のためになるようなプロジェクトを考えてほしいと思いました。伝統文化の意義を深く考えて、高校生なりの方法でアプローチしてほしいです。これからが楽しみです。応援しています。

1年生 I班 講評者 樋田有一郎 先生【日本女子大学家政学部学術研究員】

吉賀、東京、益田の3地域での調査おつかれさまでした！高津川の水質改善に様々な視点からせまろうとしている点が印象的でした。特に吉賀だけでなく下流域の益田まで調査している点がおもしろかったです。水質の評価は下流域で行うので、水質日本一になるためには吉賀町だけの問題ではないはず。下流域との協働も必要であると感じました。

高校生や町民が具体的にできることを提案してほしいと思いました。ぜひ吉賀町のことを、吉賀町を飛び越えて考えて高校生なりのプランを立ててほしいです。応援しています！

2年生講評

2年生 1班 講評者 浦崎 太郎 先生【大正大学地域構想研究所教授】

「吉賀町産のものを多くの人に知ってもらおう」という願いを持ち続け、工夫を重ねてきた様子が伝わってきた。「商品を開発するには専門の知識が必要」とは、実際に挑戦した者でないと分からないこと。「願いを果たすためには専門知識を高めることが重要」と実感できたこと、すなわち「学ぶ意義」を実感できたことは、とても貴重な学びだと思う。

この班が立派だったのは「実践して終わり」ではなく「みんなの声」という形で Good Point や Bad Point を調査したこと。今後、卒業までに、このような形で記録をとりながら「試作 → 検証 → 改善 → 検証・・・」を繰り返して、商品として売れる域まで持っていく、「売れた！」という成功経験を持てると素晴らしいと思います。

<p>2年生 2班 講評者 浦崎 太郎 先生【大正大学地域構想研究所教授】</p>
<p>吉賀町に人を呼び込むために、空き家をリフォームして休日カフェをつくる…。誰かに提案するのではなく、「自分たちの力で」呼び込むのだと、「自分たちが行動して実現できること」にこだわり抜いた姿勢は非常に立派だと思いました。その思いが、物件探して7回断られても8件目に成功するという形で実現したのだと思います。よほどの思いがないとできないこと。これだけでも「高校時代の挑戦」として誇るに値するでしょう。キヌヤさんとの交渉を通してまとまった企画は実現性が高く、しかも「吉賀町に人を呼び込む」ゴールにつながる貴重な一歩だと思います。3/20のカフェを成功させ、ぜひ次のステップに進めてください。</p>
<p>2年生 3班 講評者 浦崎 太郎 先生【大正大学地域構想研究所教授】</p>
<p>「今あるイベントを盛り上げたい」の「今ある」がもつ意味について質問した時の回答が印象的で、忘れられません。町外から人を呼び込むイベントを企画した経験をもつ高校生は全国に数え切れないくらいいますが、ゼロから考え、結局のところ、誰が汗をかくのか不明瞭で、実現可能性の低いプランにとどまる場合が大半です。それとは対照的に、既存のイベントに関わる方向で解決策を考えたのは、とても立派だと思いました。それは、これまでに十分な調査を行い、イベントの内容や参画できる可能性について熟知していたからこそ可能だったこと。「思いつきに頼るのではなく、事前に入念な調査を行った上で企画し、上手に大人の協力を得て手堅く実行し、成功を収めた」経験は、将来すく生きると思います。</p>
<p>2年生 4班 講評者 浦崎 太郎 先生【大正大学地域構想研究所教授】</p>
<p>アスレチックをつくる肉体的な労力は半端ないはずですが。「人を呼び込むために」という願いをよほど強くもっていないと、ここまでではできなかったと思います。また、臨機応変に制作したり、子どもが遊ぶ様子から反響を調べた点(すなわちキチンと検証した点)も立派です。なお、ゴールは町外から実際に人が来ることかと思えますので、今回の実績をふまえて、ぜひ、(1)「これは行ける」というインスタ映えするアスレチックをつくり上げる、(2)インスタグラムに投稿する、(3)インスタグラム上の反響を調べる、(4)インスタ上の反響と訪問行動との関係性を調べる、という形で「少人数でもよいので実際に人を呼び込む」実績を構築してください。</p>
<p>2年生 5班 講評者 大木 由以 先生【青山学院大学教育人間科学部助教】</p>
<p>高津川で遊ぼう！というテーマ、いいですね。メンバーの方たちが川で遊ぶことを楽しんでいるような印象を受けましたがいかがですか？調べる中で実際に飛び込んだり泳いだりしながら評価をしていることもいいですね。そしてマップがとても充実しています。公民館の方もおっしゃっていましたが広く普及できるといいですね。遊び方、生き物などにも詳しいようなので、さらにマップを充実することができそうでは？様々な立場の人にも意見を聞いたり、他の自治体、他の国にも目を向けて一緒に考えたり発展させることができそうですね。楽しみです。</p>
<p>2年生 6班 講評者 大木 由以 先生【青山学院大学教育人間科学部助教】</p>
<p>それいけコッペパン！よしかの里の工賃を上げたいという目標を設定したのはどうしてですか？このあたりの背景も伺って見たかった。何かきっかけがあったのかな？試食をしたり、アンケートを採ったり、改善したいという気持ち伝わりました。また、とても多くの人に意見を聞く機会を持っていることも素敵だと思いました。「コンセプトを見失っていた」という言葉が印象的でした。それは目標や当初の思いに立ち返るという行為で、ついつい忘れてしまうことでもあります。軌道修正しながらよりよくなるいいですね。ポスターもきれいでとても印象のいい発表でした。</p>
<p>2年生 7班 講評者 大木 由以 先生【青山学院大学教育人間科学部助教】</p>
<p>子どもとお母さんを元気にする。発表の中でもこの目標を達成するために、という説明がありましたが、そのためにも子ども・お母さんの現状をもっと深く知ることも大切な作業になるかと思います。なぜ？何のために？ということ、当事者やそこに近い人たちの声を聞きながら考えると、みなさんにとっていい時間になるのではないのでしょうか？</p> <p>ポスターがきれいに作られていました。実際に電子レンジを使うなど、相手(聞き手)に自分たちの思いや活動がについて伝えたいという姿勢が表れていました。大切なことだと思います。</p>

吉賀高校 1年

Presenter

吉井 美咲
Yoshii Misaki



『広げよう!ご縁の輪』

“人と関わる、
ことが好き”

広げよう!
ご縁の輪

普通に暮らして
いたら出会えない
“縁”

簡単に説明すると...
他の地方、他の県
の高校生との
交流

GOAL 
A高 B高

“A高の生徒がB高の地域へ
訪問。B高の生徒自身が観光案内”

『しまね高校生
探究PROJECT
CAMP』
参加!


◦その地域を知る
事ができる!!
◦日本国内で高校生
同士 つながる

「自分について知る」
↓
プロジェクトにする

将来
交流した高校の
近くに行きたとき
“顔見せてみようかな”

action1
クラスの前
で
マイプロ発表

「興味をもってくれない
かもしれない…」
「認めてくれるかな…」
不安

「かかわりたい！」
「面白そうな
プロジェクト」
「すごい！」 **希望**

思いを伝える
↓
共感
↑

「地域の企画
に参加してみたい」

action2
『始まりの会』
地域の大人や
中高生の交流



・ドリミをする
・大人と中高生が
話し合う



ネットワークが軽い
大人たち
↓
私もこんな人になり
たい!

イベントの前に
運営側でドリミ
↓
運営側が楽しさを
実感するの **大切**

・ハプニングの想定
・段取りの甘さ
↓
「用意周到」 **大切**

action 3

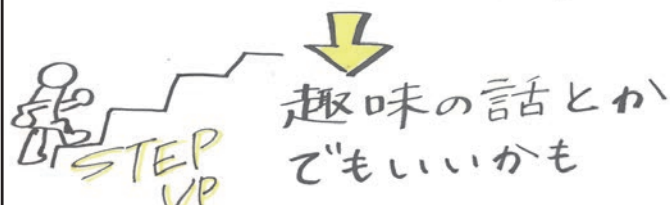
オンラインで
高校生同士
つながる

次のプラン

- 吉賀高校生と隠岐島前高校生が実際に会って交流
- 日本全国の高校生と zoom

隠岐島前高校
の子と Zoom

堅苦しくなって
しまった



アクションによって...

- 思いを 声に出し、表現する大切さ
- イベントを企画する 難しさ、やりがい
- 企画する側が 思いを持ち、楽しさを 実感する大切さ

縁が広がって、
大切にしたい!!

吉賀高校 1年

Presenter

高橋 那央子
Takahashi Naoko

『野球部復活プロジェクト』

私は③に着目しました。

市内の中学校にある運動部

サッカー
バレー
陸上
ソフトテニス
卓球
野球

吉高にある運動部

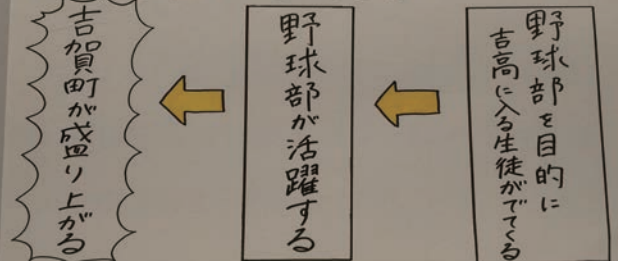
サッカー
バレー
陸上
ソフトテニス

野球部

復活プロジェクト

～吉賀町を盛り上げたい～
吉賀高校1年 高橋 那央子

もし吉高に野球部ができれば...



何か吉高のためにしたい



吉高の入学者を増やしたい



なぜ定員割れするのか?

9月のスタートアップキャンプ直後に行われた校内発表会では...

教師先生

現実的には
難しいね

と、言われ落ち込みました。

・少子化



・過疎化



・町外に進学する生徒がいる

やれるところまでやってみよう!!

なぜ町外の学校に進学するのか

- ① 勉強して学力向上を目指すため
- ② 普通科以外の学科があるから
- ③ 部活の選択肢が多いから

寮の調理人さんから聞いた話によると...

40年くらい前までは野球部があった。
部員不足で廃部に。

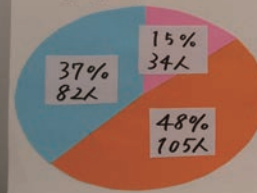
野球部の需要調査

ステップ1

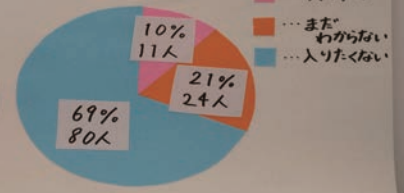
野球部に入りたい人がどのくらいいるのか町内の小中学生対象のアンケートを実施する

Q 吉高に野球部があたら入りたいですか

小学生(221人)



中学生(115人)



目的

- ・ 野球部創設直後、部員を確保できる見込みがあるかどうかを調べる

実施期間

- ・ 令和元年12月18日から令和2年1月17日まで

対象

- ・ 町内の全児童生徒 355人



ステップ2

野球部創設に必要な物的・人的環境を調べ実現可能性を検討する

12/11 吉賀中学校の校長先生と教頭先生にプレゼン



12/17 吉賀町の校長会でプレゼン

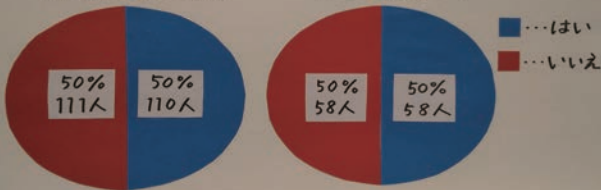


1/17 鹿足郡の校長会でプレゼン

Q 野球は好きですか

小学生(221人)

中学生(116人)



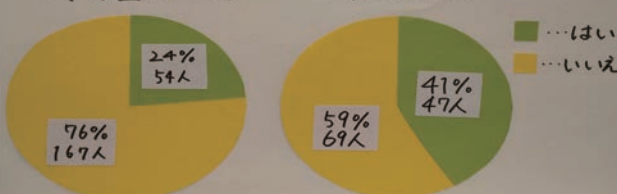
12/21 スポーツ少年団の練習見学。グラウンドの状況確認

12/23 元広島東洋カープの選手の田中敬人さんにプレゼン。吉賀町の体育協会会長の山崎さんにプレゼン。

Q 野球をしたことがありますか

小学生(221人)

中学生(116人)



・物的環境

① 野球道具一式

(ユニフォーム, ボール, バット, ヘルメット, 防球ネット)

② グラウンド

・人的環境

- ① 部員
- ② 指導者
- ③ 後援会

地域の人との 繋がり



相手に自分の思っ
ていることをどうしたら
伝わるか考えるように

急に今自分がやって
いることが独りばかり
ではないかと不安に...

度胸がついた



「できなくても
やるのが大事。
やろうとするのが
いいこと。」





3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

<ul style="list-style-type: none"> ・後援会を作る ・練習場所を確保 ・道具を調達 ・顧問の先生を見つける ・学校と具体的な協議を開始 <p>吉賀町体育協会総会に参加する</p> <p>部員を集める</p>	<p>吉賀町の広報で創部を発表</p>	<p>野球イベント開催</p>
---	---------------------	-----------------

ご清聴

ありがとうございました

青山学院大学 教育人間科学部
3年生

Presenter

東島 今日香
Higashishima Kyoka

とっても
美味しい
食べ物



吉賀町と私たち



人と人の繋がり

1. 私たちから見た吉賀町

<はじめのイメージ>

- ・自然が多い
- ・地域の人との交流が多い
- ・祝い事や行事、伝統文化を大切にしている
- ・交通の便が悪い
- ・家と家が遠い
- ・人が少ない



町への情熱

1. 私たちから見た吉賀町

<実際に行ってみて>

- ・自然たっぷり
- ・とっても美味しい食べ物
- ・人と人の繋がり
- ・町への情熱
- ・自由さ
- ・ポカポカな心を持つ人たち



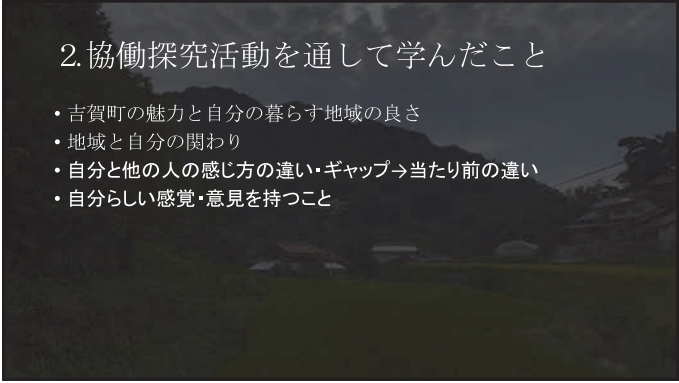
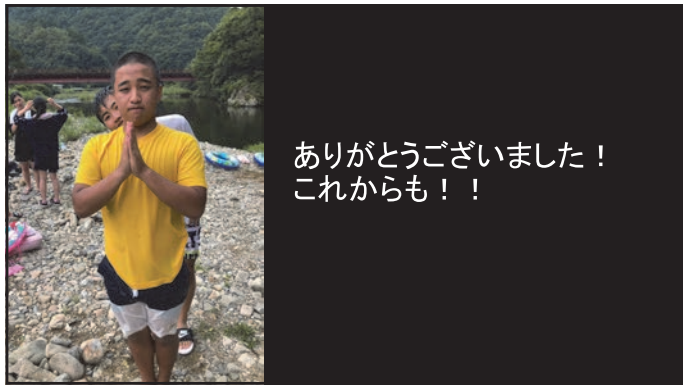
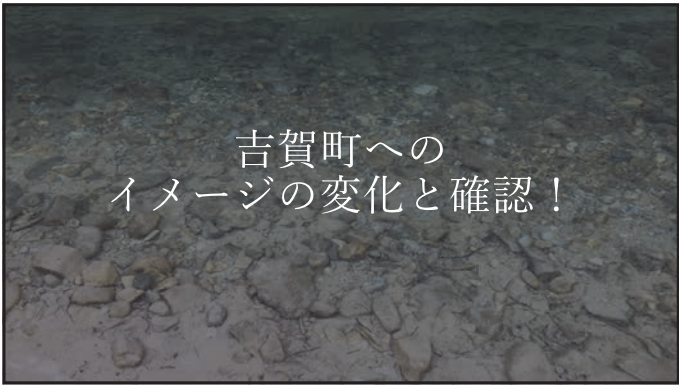
自由さ

自然
たっぷり



ポカポカな
心を持つ
人たち





来場者の声(ポスターセッションについて)

地域課題についてしっかりとプロセスを通して考えることができていて、とても高校生の発表とは思えない内容でした。(大学生)
それぞれの生徒が問題意識を持って取り組んでおり、話を聞いていておもしろかったです。見る人も自分の興味・関心で見ることができたので、よい形式だと思います。(大学生)
吉賀町に対する思いだけでなく、実行に移す力が見てとれた。また何のためにやっているのか、全員の目的をまとめきれていないところもあった。(大学生)
多くの班の発表を聞くことができてよかった。1年間を通して探究活動を進めていることが実感できた。「社会に開かれた教育課程」が求められている中で、それを実現するような取り組みだと考える。吉賀町の取り組みが全国に伝わってほしいと思った。(大学生)
高校生が自分の町に向き合ってよりよくなっていくとする熱い姿勢がジワジワと伝わってきました！たとえ今かかげているプランが上手くいかなかったりしても、その思いさえあれば何らかの形で吉賀町に花が咲いて、より魅力的な町になっていくのではないかと思います。(大学生)
1年生は主にパワーポイントを使い、2年生は模造紙に書いて発表していたが、逆にしてもよかったのかなと思いました。(大学生)
問題が出てきた時、それを乗り越えるために自ら汗をかき解決するための手段をさぐって探究している様子を感じられ、その一生懸命さに応接したくなりました。(中学校教員)
どのグループも自分たちが目指す未来の実現に向けて一生懸命考えられていてよかった。 “地域をよりよくしたい”という思いが伝わってきた。(中学校教員)
おもしろそうなテーマがたくさんあったことに驚きました。 せっかくのおもしろそうなテーマですが、もっとテーマに深くせまって取り組めるとおもしろさが倍増するだろうと感じました。(中学校教員)
どんな吉賀町にしたいか、という一人一人の熱い思いを感じることができて感動しました。最終的なゴールだけでなく、それに至るための過程や課題までしっかりと考えられていた実現可能なプランが多くあり、吉賀町の未来は明るいと思いました。自分の町のために、自分にできることをしようとしている姿はとてもよかったです。(町外一般)
地元の住民の方も見に来てくださってリアルな声をきけたのもいいことだったと思います。1年生と2年生が一緒にやると2年生の方に人が行きがちかも。偏りがでてしまうのでそこは運営の仕方を工夫した方がよいと思った。資料を貼り出していたとしても小さく見えにくいので手持ちの資料が見やすくよい。(町外一般)
発表時の仕草・内容にバラツキはありましたが、2年生の発表が総じて高い完成度であったという印象を受けました。それは教育体制として子どもを成長させることが仕組み化されていることの証拠であると思いました。(町外一般)
どうしても多数が一斉に発表すると声が聞きづらくなってしまうので、マイクを使うなど工夫する必要があるのかなと思いました。1、2年の発表を同時時間帯に聞いたのはよかったです。(町外一般)
2年生の発表は概ねよかったと思います。特に保育園とアスレチック。1年生の発表は今後期待したい。各々テーマに沿って深掘りしてほしいです。質問タイムでは大人ばかりが質問するのはどうなのか？(町外一般)
サクラマスプロジェクトの成果があらわれていると思いました。(町外一般)
ポスターセッションに書くので質問をその場でする人が少なかった。ポスターセッションの本来の意義はその場でのやりとり(質問だけでなく感想や情報交換も含む)にあるので無言の時間になるのはもったいなかった。中学生や地域のポスターがあったのはすごくよかった。(町外一般)
パワポでプレゼンするのと、オープンスペースでセッションするのは目的が違うので使い分けたいと思う。(町外一般)
どのテーマも高校生が一生懸命取り組んでいる姿勢は見取れた。今回取り上げたテーマを掘り下げた結果、課題も見つかったのだから継続して取り組んで、課題解決まで導いてほしい。全体を通じてプレゼンが下手である。発表するのが精一杯で聞いている人の状況が見えていないのが残念。中学生も来てくれているのだから、もっと中学生に話してもらえよう工夫があってもよいのでは。(町外一般)
校内発表の頃より内容や発表の仕方が数段上手になってよかったですよ。(町内一般)
パワーポイントの資料について、もう少し大きいサイズにしてほしい。そうすれば遠目からでもみやすい。(町内一般)
課題の設定と調査・分析の理由が不明瞭なプレゼンが多い。行動力はあると思ったので、あとはそのあたりかなと。(町内一般)
テーマがどれも大きすぎ、もっと自分たちの身近にあるものを見てください。(町内一般)
神社・まんざいらく。地域の文化を大切にしながら、それらを通して魅力を発信しようとする姿勢が凄いなと感じました。(町内一般)

地域に興味をもって調べることを継続していけば、その下の中学生・小学生・幼児にもつながると思います。地元の施設をもっと巻き込んでいったらよいと思う。声が小さく聞き取りにくかったのが残念でした。(町内一般)
どのグループもしっかり調べて上手にまとめてありました。発表の声がもう少し大きければよかったです。それが残念。(町内一般)
観光に着目してくれているチームが多く、大人の責任を痛感。どのチームもよく調査されていてがんばったな〜と思った。(町内一般)
高校生どれもステキな案で、ぜひコラボしたいと感じた。(町内一般)
発表することはとても難しく勇気のいることですが、もう少し元気よくできると良いなど感じる場面もありました。しかし、面白いアイデアだったり、大切な課題だつたり注目し、自分たちなりに考え、学び、行動されているのは素晴らしいと思いました。“一生懸命”“自分たちで”というところが伝わってきました。(町内一般)
高津川マップがよかった。一年かけてやってきたことが成果となっていた。一人一人が自分の体験を成果にあらわさせていた。お茶もよかった。長く続いてきた吉賀のお茶は今年寄りで終わりそうなので、若い人につなげてほしい。(町内一般)
やはり2年生は実際に活動しているので発表にも実感があり、発表する声も態度もよかったです。1年生はこれから自分たちでどれだけ煮詰めていけるかが課題だと思います。頑張ってくださいと思います。(町内一般)
ただ吉賀町の魅力をつくるだけではなく、課題を踏まえつつ、魅力を生み出そうとしているところがとてもよかったです。(中学生)
話し方などで工夫されていたので、長い時間聞いていてもあきなかった。一つの課題に対して、色々な見方をされていて凄いなと思った。改善点などを自力で見つけていて凄いなと思った。(中学生)
私もポスターセッションを何度かしたことがあるのですが、自分のものと高校生のものとは全く違い驚きました。今後のことか、資料とかがとてもしっかりしていて、見応えがありました。色々な意見を聞いて、自分が住んでいる吉賀町について深く考えることができました。(中学生)
生徒が吉賀町のために“アスレチックをつくりたい”“クッキーと紅茶をきんみん祭に出したい”という生徒の意見を実践できるところが吉賀高校の、吉賀高校生の良さだと思います。(中学生)
自分たちが経験したことと東京研修で学んだことを比較して、準備、実験、成果、反省などを細かく記録し、わかりやすく発表していてすごいと思いました。そして、これからどうするのかの見通しも立てていて感心しました。インスタ映えするものを手作業でつくっていてすごいと思いました。声も大きく発表していて聞こえやすかったです。(中学生)
どの班も説明が上手でまとめられたものも写真があたりしてわかりやすかった。質問されてもスムーズに答えていてすごいなあと思った。吉賀町を有名にするためや観光客を増やすために考えている人がたくさんいるんだなあと思った。(中学生)
どの班も無理だったら何回も考え直してやっけていてすごいと思いました。どんな質問にもすぐ対応していてすごいと思いました。(中学生)
発表内容はおもしろいけど、声が小さくて伝わらない部分があったのではっきりと話してほしかったです。(中学生)
実現性のある小さなものから始める。東京など都会から学ぶのはよいと思う。しかし、吉賀町と同じような環境から有名になっていった所から学ぶのもよいと思う。(中学生)
様々な方法を試行錯誤されていてすごいと思いました。自分たちが何か発表するときには参考にさせていただきたいです。(中学生)
自分は高校から吉賀町を離れますが、ただ出るのではなくその地域の特色を見つけて何か活かせることはないのか考えてみたい。(中学生)
発表を目的にしてこれで終わりにならないよう、これから活動や実現に向けてがんばってほしい。また、先生方も実現に向けて最大限協力してほしいと思います。(本校3年生)
プレゼン能力を伸ばして内容は端的に表現を工夫して伝えていくことは重要なポイントであるが、プレゼンだけでは内容を飲み込みきれないので、各班で要旨A4プリント1枚を準備し配布するとよいのではと感じた。聞く方も質問がしやすくなる。(本校教員)
一つの班の発表をじっくり聞くという点で、全ての班の発表をステージプレゼンテーションにすることはできないか？より緊張感が増して研究のレベルが上がる上、プレゼン能力も向上すると期待する。(本校教員)
1年生の研究テーマは行政に関わるものが多く、2年生よりも正直難しく、具体的な政策実行に移りにくいという問題点があると感じた。だからこそ1年生は2年生とは単純に比較できず、十分に検討していたと感じた。発表も堂々としていた。(本校教員)
生徒たちの伸びや潜在能力が開花する様を見ることができ感動した。ポスターの一つ一つ、発表する声・言葉に宿るエネルギーの強さに、ここまで重ねてきた学びのプロセスがどれだけのものだったか、よくわかった。(本校教員)

来場者の声(ステージプレゼンテーションについて)

自分の意志の強さ、実行力に驚かされた。彼女たちが吉賀を変えると確信した。(大学生)
野球部復活プロジェクトは具体性・計画性があり魅力的でした。(大学生)
吉賀高校生の行動力に感心させられた。吉賀高校生が頑張っていることについて知ることができてよかった。(大学生)
“行動力”という面において、多分都会のエリートとよばれる子どもたちより勝っているのではないかと思います。(大学生)
スライドが手紙で書かれていたのですごくよかったです。(大学生)
これで1年生?すごいですね。この子たちが2年、3年とどんどんレベルアップしていくのがとても楽しみです。(中学校教員)
どの発表も興味深かった。ぜひ3年間を通して研究し、実現に向けてがんばってほしい。 フットワークの軽さには本当に驚かされた。(中学校教員)
町外生ならではの視点で面白いと思います。人物が魅力的で応援したくなりました。(中学校教員)
高校生の行動力に驚きました。他校の高校生との交流、野球部創立、ぜひ応援したいです。(町外一般)
高校生2人の発表が論理的で一貫性があり内容が充実していました。 吉賀町出身の高校生の発表も聞いてみたいと思いました。(町外一般)
高校生と大学生のプレゼンが聞けてよかったです。高校生が一人で発表するのはとても緊張すると思うのですが、堂々としていてすごいなと思いました。(町外一般)
しまね留学生の二人の行動力に感心しました。夢が実現するといいですね。(町外一般)
大学生のプレゼン、スライドの構成等を高校生が参考にするといいですね。(町外一般)
オーディエンスのモデルになったと思います。(町外一般)
テーマがもっと絞りきれるとわかりやすかった。元気があってよかった。(町外一般)
高橋さんの行動力はお見事。夢を実現するのは行動が大事ということがよくわかっている人ですね。吉賀高校は軟式でした。(町外一般)
とても気持ちよく、言葉もはっきりと話され、好感が持ててよかった。(町内一般)
熱量が伝わる発表でした！(町内一般)
もう少し時間を長く取ってあげてもよかったと思う。高校生の行動力がとても素晴らしいと思う。(町内一般)
高校生の手書きのパワーポイントがとてもよかったです。親しみやすさを感じました。内容もとてもよかったです。(町内一般)
野球部復活プロジェクトは夢があっていい。高校の活性化につなげ、地域の活性化をめざすプロジェクトとして応援したい。(町内一般)
一人で考え、行動して、まとめて発表して、なんて立派なんだ！と感動。(町内一般)
とても勢いがあり、こちらが吉賀の魅力に気づかされた。(町内一般)
自分の言葉でわかりやすく、話に思わず引き込まれました。(町内一般)
行動力でいろいろな場面を開拓していけそうな希望を感じた。(町内一般)
元気のよい1年生2人。それもサクラマス交流センターの子たち。しっかり発表できていた。(町内一般)
県外留学生の積極的な取り組みが刺激になっているように感じた。(町内一般)
自分の思いをしっかりと伝えられる力があり、とてもよかった。一人一人がそんな力をもてたらと思いました。(町内一般)
野球部復活プロジェクト。不可能なことに対して、どんなプレゼンをするのかと思ったけど、みごとでした。(町内一般)
僕も野球部なのでおもしろいと思った。(中学生)
自分がやりたいことで、自分から動いていてすごいと思いました。(中学生)
意見がしっかりまとめられていて、自分の考えていることを発表していてすごいと思った。(中学生)
目標ややりたいことに向かってどうすればよいか考え、積極的に行動していることがよくわかりました。(中学生)
大学生のプレゼンテーションでは、改めて吉賀町の魅力が発見できてよかったです。(中学生)
このような生徒が入学し、自在に暴れ回り、それが地域で受け入れられる吉賀町の土壌の豊かさ、今の吉高の勢いがあらわれていると思う。 今後も「頭の固いオトナ」に揺さぶりをかけ、パワフルに活動する生徒が増えてくるとよい。(本校教員)

来場者の声(吉賀高校アントレプレナーシップ教育について)

計画をぜひ実現させてあげたいですね。そのためにもどんどん地域へ発信してください。(中学校教員)
1年次に設定した課題と、それに対する解決策を2年次に実行されているところがいい。やらなければわからないことがたくさんあるし、一度やってみたことでより実現可能なものになっていくと思う。(中学校教員)
行動力、実行力、表現力を高めるよい機会になっていると思いました。(中学校教員)
1年生と2年生の発表を聞いて、こんなに成長するんだと感じました。着実に力になる教育だと思い、少しでも携われたことに感謝します。ありがとうございました。(町外一般)
当日参加している中学生の活動場面がもっとあるといいと思います。単に聴衆ではなく…。(町外一般)
よい取り組みだと思いますので、次年度以降も継続されて更によりものとなることを期待します。もっと中学生を引き込む工夫があればよいと思います。(町外一般)
毎年続けられている事で年々発表が上達、内容もよくなっているなどと思います。社会に出て大きなプラスになるでしょうね。(町内一般)
発表して終わりではなく、最後まで形にしてみたい。(町内一般)
「全国で1%の高校」はとても貴重なことだと認識できました。(町内一般)
生徒たちが自主的に取り組みたいと思えるように、どんどん活動してほしいと思います。自主性を大事にしてあげてください。(町内一般)
社会に出て必ず役に立つ授業だと思うので、これからも続けてください。(町内一般)
吉高生のおかげで地域も元気になれるように思いました。しっかり協力したいと思いました。(町内一般)
本人の勉強になったことは何よりですが、継続してぜひ形にするところまでもってほしい。計画と実現の間がむずかしいので、そこまで入ってほしい。いいのではと思えるほど、きちんとした取り組みが多くてすばしかった。(町内一般)
色々な方が色々な場面で関わってくださっている事がわかりました。そのことを生徒も知り、もっと貪欲に頑張りたいです。(町内一般)
“実際に動く”までできるとかなり良いことがわかりました。計画→実践→反省→改善のサイクルで大きく成長していく生徒の姿にはかなり驚かされました。(本校教員)
生徒主体でできる体制がとれているなら「やってみよう！」でどんどん挑戦したい。協調性や、人前で意見が言えた、達成感があつた、もっと時間がほしい、内容を改善したいなど生徒の前向きな意見が多く、教育効果は高いと思います。(本校教員)
浦崎教授の言葉にもあつたように、実力(豊かな思考力や判断力)をつけるのは平素の授業であるので、その発想を基盤としたアントレ活動であつてほしい。(本校教員)
アントレを通じて、生徒・教員ともに問題解決型学習(PBL)・アクティブラーニング(AL)の学びをしっかり身に付けたい。その力が、教科学習、部活動、進路実現、そして日常生活…に生かされてくると、学校で起こる学びのすべてが「生かし合い、高め合う」関係となり、よい循環が発生すると思う。(本校教員)
こうした活動の良さは、多様な人間が交わり協働することで起こる「相互作用」にあると思う。様々な場面で相互作用の力をうまく生かし、生徒個々の「凄さ」が開くよう、学びのシステムを構築できればと思う。(本校教員)

2020/2/13

キャリア教育成果発表会



よしが愛。

HAPPY

YOSHIKA



High School

サクラマス
ドリームプログラム

キャリア教育成果発表会

きらめけ、我らの吉賀魂！ 広げよう、私たちの願い！！

吉高生が考えた
わたし達のまち、吉賀町の

……だったらいいなさ。

吉賀米の
美味しさは
もっとアピール
出来るわね。

高津川は
また日本一に
しなくちゃ！

吉賀町は
最高の子育て
環境！！

ちよー
町変化！
町を超変化
させたい！！



2020年
2月13日(木)

13:00開場～16:00

会場〔無料です〕

吉賀町民六日市体育館

プレゼンテーション
〔13:30～15:30〕

- 1年生全員：9チーム
- 2年生全員：7チーム



コメンテーター

- 青山学院大学：教育人間科学部
樋田 大二郎 教授
- 大正大学：地域構想研究所
浦崎 太郎 教授
- 法政大学：キャリアデザイン学部
寺崎 里水 教授
- 青山学院大学：教育人間科学部
大木 由以 助教
- 日本女子大学：家政学部
樋田 有一郎 学術研究員



問い合わせ先

吉賀高等学校

Tel. 0856-78-0029

*こちらにもぜひご来場ください！
吉賀町の今と未来を考える
～サクラマスプロジェクト フォーラム2020～

2月15日(土)

13:00～16:40

吉賀町民六日市体育館



吉賀高

小・中・高校生から専門学生、大生まで、吾人たちの誇りを掲げる「ヤングこだま」です。今回は、吉賀高等学校1年生の皆さんです。学校、学級単位での投稿を募ります。投稿希望の学校は「ヤングこだま」係 電話0935(3)3333(05時～)までご連絡ください。

高津川起点に住む町活性化

1年 桑名 颯司 の近くにお店を開いて、私たちが「アンドアスポート」したり、「フレンドシップ（起業イベントをたくさん開いた家精神かん養 教育）」というのを受けている。改善のためにボランティアの中で私たちは、自分たちが住む町を活性化させるためには、町の中を流れている高津川を起点にすればいいと考えた。そこで、日本で一番人口が多い東京に行き、自分たちの町と比較してみた。東京では、川

人がつながらる日々を大切に

1年 吉井 美咲 聞いた時、地元の中の見えないつながりを感じる事ができました。また、寮の中で生活していくうちに、私は家族になりました。その中で、私が一番に感じたことは一人のつながりです。昨年の10月、私は寮の前で火事があったのを見て、その時に、クラスの中で「火事の片付けのボランティアをしないか」という声を上げました。それを

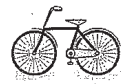


「新年の願い」(高校生版)

現在、映画『高津川』は車を呼び出すに生活するが上映中なので、近いうちに映画に出演している人の車の運転が少しでも安全ではないかと感じたら、2人に運転免許を返納することを勧めようと思います。

危険を感じたら免許の返納を

1年 岡本ひなた 昨年、岡本ひなたが起した交通事故のニュースが、テレビや新聞で多く取り上げられていたように思います。2020年度には高齢ドライバーによる事故が減ることを望みます。特に印象に残っているのは、87歳の男性が運転していた母の車を改め、感ることができました。そして、島根に来てみたら出会えなかった人にもたくさん会ったことができて、私はそれらの皆さんや、私を応援してく



周りが笑顔あふれるように

1年 深川 心優 私の今年の目標は「笑顔で地元を元気にしよう」ということです。自分自身が笑顔でいられること、周りが笑顔あふれるように、笑顔もあふれたいなと思つたからです。そのため、私は主に

納することを勧めようと思います。日本は高齢化社会で、今後も高齢者が増え、自分の運転の危険性は自分で気付くことができず、2人に危険な事故を起こしてほしくありません。私たちが免許の返納を上の世代に勧め、少しでも高齢者による事故が減ることを望みます。

二つのことを頑張りたいです。一つは勉強です。高校2年生になるので、進路を意識して取り組みたいです。二つ目はボランティア活動やアンチプレナシップ教育を通して、積極的に地域の人と関わることです。お年寄りの方が多い吉賀町では、若い人が関わることは、お年寄りの孤独感を少しでも減らすことが可能だと思つています。日本を笑顔にするには不可能かもしれませんが、私の周りからは少しずつでも笑顔があふれるようにしていきたいです。



吉賀町とともに Since 2013

吉高地域クラブ

学校概要

- 1学年1クラス全校生徒104人の小さな学校
- アントレプレナーシップ(起業家精神に学ぶ)教育が活発
- 地域での体験学習ができる
- 全校生徒が地域クラブ員



活動体制

主要部員が活動を提案 → 教職員が校内・校外との交渉 → 主要部員 + α で活動

→ 活動報告書のまとめ

総部員数: 全校生徒

地域クラブとして、地域のボランティアに参加したり、吉高ライスバーガーを販売しています。また、吉高ではアントレプレナーシップ教育(総合的な学習・探究の時間)が活発で、地域課題を発見し、解決する学習を、地域クラブの活動と連動する形で行っています。

令和元年度の方針・計画

- ライスバーガー販売をととして吉賀町の魅力発信
- 地域の方々と一緒に地域の課題解決に向けた活動
- 地域活性化に貢献

【主な活動】

- ボランティア活動への参加
- 吉高ライスバーガーの取り組み
- 森里川海連環学
- アントレプレナーシップ教育との連動

令和元年度の活動内容

■年間活動内容

- よしか・夢・花マラソンボランティア(4月)
- 森里海連環学体験学習 (4月、8月、11月)
- 田んぼの生き物調査ボランティア(6月)
- 高津川川下り調査活動(8月)
- よしか町ふるさと夏祭りボランティア(8月)
- 学園祭展示(9月)
- 邑南・吉賀里山バスツアーボランティア(10月)
- ハゼ干し講習会&収穫祭参加(10月)
- きん祭みん祭農業文化祭参加(11月)
- キヌヤよしか町フェア参加(1月、2月)
- しまね探究フェスタ発表(2月)



活動記録



過去の活動

- 地域のお祭りやマラソン、小中学校の運動会などの行事におけるボランティア活動
- 吉高ライスバーガーの開発・販売



部員の想い

- 発表を通して、経験を積める。
- 話し合いの中で、自分たちの意見をしっかり伝えることができるようになる。
- 私達が住む吉賀町のことをよりよく知ることができる。
- 他校の生徒たちとの交流を通して、自分たちの活動を見直すことができる。
- このクラブ活動が今後も継続して行われる。

きらめけ我らの吉賀魂！ 広げよう私たちの願い！

指導者から見える部員の変化

- 発表する姿勢、コミュニケーション力がUP。
- 自分たちで何をどうするかを考える主体性がUP。
- データを読み取る力、まとめる力がUP。
- 普段の授業も一生懸命に取り組む姿勢。

自信がついてきたとともに、自分たちに足りないものは何か気づき、行動に移すことができた。

指導者から見える地域の反応

- 吉高ライスバーガーに対する高い評価。
- 幼稚園・保育所・小・中学校との連携に期待。
- 今後の継続的な活動に期待。
- 地域人材との結びつきを強化した取組に期待。
- 高校生の視点から吉賀町の魅力をさらに発見。
- 発見した吉賀町の魅力を発信。

今後、部活が目指すところ

- 小中学生と連携した活動
- 地域団体と連携した活動

地域と吉賀高校のさらなる発展を！